

令和6年度  
事業計画書



社会福祉法人 友好福祉会

こむぎ保育園

# 目 次

1	令和6年度 事業計画	P1～2
2	法人理念・保育理念・基本方針	P3
3	保育事業	P4～5
4	職員体制	P6
5	各係・その他	P7
6	業務分担	P8～9
7	各係から	
	(1) 苦情解決体制	P9
	(2) 防災・防犯安全	P9～10
	(3) シフト	P10～11
	(4) こぼとだより(園だより)	P11
	(5) ホームページ	P11～12
	(6) 研修	P12
	(7) パステル(保育環境)	P12～14
	(8) 外部からの保育支援	P14～16
	(9) セクシャル・パワーハラスメント防止	P16
	育児・介護休業等に関するハラスメント防止相談窓口	
	(10) 地域との交流事業	P16～17
	(11) 人事考課	P17～18
	(12) ぱくぱく(食育)	P18
	(13) 実習担当	P18～19
	(14) ステップ(保育向上)	P19
	(15) くじらタイム(5歳児)	P19
	(16) 法人研修	P19～20
	(17) 職員交流事業(ランチ会)	P20
	(18) 年間行事	P20～22
8	保健	P22～23
9	給食	P23
10	事務	P24～26
11	会議等	P26
12	家庭との連絡等及び保護者との連携	P26～27
13	施設設備と保守点検	P27
14	職員構成、処遇その他	P27
15	保険	P28
16	関係団体	P28
	別表1(年間保健計画)	P29～32
	別表2(年間行事計画書)	P33～34
	別表3(施設内研修年間計画)	P35
	別表4(全体的な計画)	P36
	別表4(年間指導計画(0～5歳児))	P37～42
	別表4(年間指導計画(3～5歳児))	P43
	別表5(全体の年間食育計画)	P44
	別表5(年間食育計画(0～2歳児、3～5歳児))	P45～46
	別表6(子育ての支援計画)	P47
	別表7(社会福祉法人友好福祉会 組織図)	P48

# 1 令和6年度 事業計画

## 《主な内容》

5月にコロナが5類になった関係で、ここ数年続いていた様々な制限がなくなり、多くの行事を昨年より少しずつ復活することができました。今年度はさらに、5月に対面での保育連絡会や、夏まつり、祖父母をお迎えし「敬老の日」の会の実施、土曜日開催のプレイデー、麦の家との合同宿泊研修では、こむぎ保育園職員の発表も考えています。

また昨年の猛暑では、7月末から9月はじめまで、戸外遊びが制限されてしまったことから、園庭に「ホール」の建設を考えています。8ヶ月にも及ぶ建設計画になるかと思いますが、卒園式は、新しいホールで開催できることを心より願っています。また、ホールを活用して地域の子育て家庭の支援や、商店会の方々との交流事業など、様々な事業の可能性を構築し、地域に必要とされる園の在り方をさらに模索していきます。ご協力の程、お願い申し上げます。

## 《様々な疾患を持った園児の対応について》

昨年は様々な疾患を持った園児の対応に迫られました。国としても、医療的ケア児の受け入れを進めていくことを推奨し、他市では、そのような園児を多く受け入れていることを聞きます。こむぎ保育園では、昨年1歳児クラスで、ピーナッツアレルギーが判明した園児のために、エピペンを預かることになりました。今後は、入所した後に、発症したこのような園児について園医や看護師とも協力しながら、職員がいつでもエピペンを打てる体制を整えていきたいと考えます。（入園前の園児については受け入れを行いません。）

昨年度から、消防署員の救急講習は今後できないと連絡があり、園内研修に切り替わりました。また、2歳児クラスの園児に、てんかんの可能性のある園児が判明したこともあり、救急車の要請の仕方や、AEDの使い方などを、看護師を中心に園内研修を実施することとなりました。引き続き、正規・臨時・職種を問わず、非常時に多くの職員が対応できるよう、講習を重ねていきたいと思っております。

## 《不適切保育について》

一昨年より、不適切保育が報道でも大きくとりあげられるようになり、こむぎ保育園でも随時、保育の見直しを行っています。園児の名前の呼び方や散歩中の点呼の仕方、園児に対する言葉がけなど、まだまだ十分にできていないことも多いかと思っております。引き続き、職員で勉強を続け、子ども達の人権を守り、保護者の方々からも信頼して頂ける保育が行われるよう職員全員で検討していきたいと思っております。

## 《地域との連携》

保育所体験事業（おやつを食べよう）、出産前後の保護者の育児支援（ひよこ学習）、空き保育室の貸スペース事業（地域住民との落語会の開催）を継続します。年末に実施している小金井市社協主催のフードバンクに、保護者や職員から集めた物品を届ける事業を数年前から実施していますが、継続していきます。東日本大震災の復興支援ひまわりプロジェクトも継続します。

以前に実施していた老人ホームとの交流事業について、コロナで途絶えてしまいましたが、新たに近隣の別のリハビリホームから交流事業の申し出があり、お受けすることになりました。地域交流は社会福祉法人の使命でもあることから職員協力して実施していきます。

## 《誰でも通園制度・定期利用・一時保育について》

誰でも通園制度について、国や東京都の施策が徐々に示されてきています。こむぎ保育園で実施している定期利用保育や一時保育と、ほぼ同じ預かりとなることから、そのような場合の対応はできると考えます。但し、こむぎ保育園では、保育室の広さに余裕が無いことから、定員に欠員が無ければ預かることができません。また、お子様をお預かりすることは、そのご家庭でのお子様の様子がわからないこともあり、引き続き安全には十分に配慮し、お預かりをしていきたいと思ひます。

## 《事 務》

事務員一人ひとりが新しい業務を的確にこなし、各要綱やマニュアルを読み、自身の知識を増やしつつ新たな提案が出来るよう努力していきまひます。また最新の法改正などにも常にアンテナを張り、当法人の規程にも適時反映していきまひたいと思ひます。

また一昨年度より積立金を計上できるようになったため、月々の収支についても引き続き注視していきまひます。こむぎ保育園の旧園舎も築年数が15年目を迎え、様々な箇所が老朽化し始めています。今後の建替えや大・中規模修繕等にも備え、着実に積立を行っていきまひたいと思ひます。

また、連絡帳もICT化することを検討していきまひます。その日の様子を保護者が携帯で、映像なども見ることができ、よりお子様の様子をリアルに感じて頂けるよう、準備をしていきまひます。

育休明け職員について、シフト制限がある場合、臨時職員になること以外に、正規職員のまま、本俸を減額（シフトに入ることが可能な時間帯により）する規程が昨年施行されました。今後育休明け職員が増えることから、様々な可能性を検討し、対応していきまひたいと思ひます。

## 《その他》

昨年は合同研修を開催することができ、同法人内の交流を深めることができたことは、とても意義がありました。親睦会も復活し、多くの職員で交流を深めることができました。また、今年度は、職員から長年要望の多かった「麦の家見学」を実施することになりました。勤続年数の高い3人程度の職員グループを5班つくり、1日見学させて頂きまひます。また、似ている保育観を持つ近隣のさくらんぼ保育園（府中市）に、5・6人の職員が保育見学に行く事業も復活します。昼休みに職員数名で実施する「ランチ会」も引き続き行っていきまひます。

避難訓練では、今までは訓練担当を事前に職員会議などで発表し実施していきまひましたが、今年度はじめて「抜き打ち」の訓練を年2回計画しました。急な災害にも迅速に対応できるように、訓練を行っていきまひます。

また昨年作成した友好福祉会の歴史や施設の保育理念等のDVDは、今までなかなかお伝えできなかった施設の考えや思いを職員の方々に伝えるよい機会となりました。今年度も引き続き、様々な内容で伝えていきまひたいと思ひます。

職員（臨時職員含む）一人一人が①やりがいを持って働くことができる職場②保育理念や保育方針のもと、園児の主体性を尊重した保育を展開できること③地域社会のために役立つ施設としてその役割を担う等を、これからも職員全員で協力して、実施していきまひます。

## 2 法人理念・保育理念・基本方針

### 社会福祉法人友好福社会法人理念

#### 一人ひとりが満足できる施設

私たちは、法人の社会的使命を達成するために、広い視野、展望を持ち、サービスを受ける人、施設に携わる人など、利用する一人ひとりが満足できる施設づくりを目指し努力します。

## 保育理念

- 1 本物を五感で感じ、本物を選びとる力をつける保育
- 2 造形や絵画、観劇、音楽など、また伝統文化を大切にする保育
- 3 個性豊かな人間を育む保育

## 基本方針

- 1 一人ひとりを尊重し、発達に合わせ、心をこめて保育をする
- 2 保護者や園児から信頼される保育園を目指す
- 3 職員の連携を大切にし、専門職としての仕事を全うする
- 4 子育て家庭の支援や卒園生・地域の方々との交流を積極的に行う

### 3 保育事業

(1) 保育業務 0歳から5歳までの乳幼児保育

定員数 118名 0歳児 12名 1歳児 21名 2歳児 21名 3歳児～5歳児 64名  
開所時間 午前7時～午後7時 標準時間 午前7時～午後6時  
短時間保育 午前8時30分～午後4時30分  
(その前後は延長保育時間とする。)

(2) 特別保育事業等推進加算

- ①0歳児保育特別対策事業 かつ産休明け保育実施 (57日目より)・・・12名
- ②延長保育事業－標準時間・短時間保育時間以外の利用  
(0歳児クラス-1歳過ぎた園児の受入れ)・・・対象児童
- ③アレルギー児対応・・・・・・・・・・対象児童
- ④育児困難家庭への支援・・・・・・・・・・対象児童
- ⑤定期利用保育事業 (1歳以上)・・・・・・・・・・数名
- ⑥障害児保育事業 (知的)・・・・・・・・・・数名
- ⑦外国人児童の受入れ・・・・・・・・・・数名
- ⑧出産を迎える親の体験学習 (ひよこ学習)・・・・・・・・・・数名

(3) 地域子育て支援推進事業

- ①保育所体験(おやつを食べよう等)・・・・・・・・・・年6回実施
- ②小中高生の育児体験受け入れ・・・・・・・・・・数回実施

(4) 保育拠点活動支援

実習生の受入れ・・・・・・・・・・年数人実施

(5) その他

一時預かり事業 (生後6か月～)・・・・・・・・・・数名

(6) その他関係機関との協力や地域との連携事業

- ① 市内民間保育園園長連絡会の参加
- ② 就学する学校との連携 (就学する園児が東小学校、たまむし学童訪問、東小学校学校運営委員 (園長))

③ 「噺を聞く会」(落語会 新西口商店会 主催)

④ 小金井市社協との連携

小金井市法人運営連絡協議会の参加  
年末フードバンクへの寄付

⑤ メディカルリハビリホーム くららへ訪問(年8回、5歳児)

⑥ その他

小金井市子ども家庭部保育課 児童発達支援センター「きらり」 保健センター  
小金井市内公立・民間保育園 民生委員及び児童委員 警察署 消防署 新小金  
井駅などと連携をとりながら、安全安心な運営に取り組む。

## 4 職員体制

◎印はリーダー、○印はサブリーダー、    は新入職員

・園長	長岡 好	
・副園長		
・主任		
・副主任(フリー)	大岩 由香里	
・フリー	有川 奈緒	
・各クラス担任他		
たんぽぽ組 (0歳児)	◎平井 稔理 堀米 あゆみ	神谷 真琴 <u>大池 花菜</u>
あじさい1組 (1歳児)	◎佐々木 ちふみ <u>本間 虹夏</u>	栗山 絢音 白神 桜子(7月頃産休予定)
あじさい2組 (1歳児)	○野口 杏理 北山 唯	阿弓 萌
ひまわり1組 (2歳児)	◎東 千里	肥沼 剛
ひまわり2組 (2歳児)	○鹿島 柚葉	涌井 美奈
さくら組 (3~5歳児)	◎小野塚 奈々	山田 楓音
けやき組 (3~5歳児)	◎相川 佑奈	四野宮 結奈
看護師	弦弓 恵子	
保育補助(臨時職員)	今井 純子 濱田 暁子 井田 美紀 大津 聡子 荒関 由紀子	正木 智子 大西 早智美 加来 文子 木村 裕子
事務員 (正規職員) (臨時職員)	◎上田 真子 小濱 舞子	
用務員 (正規職員) (臨時職員)	渡邊 江理 宮下 久美	
育休・休職職員	佐藤 若葉 掛橋 祐未子	柴田 貴帆 岩堀 優佳
・嘱託医	小児科医 歯科医	小林 美和子 湯山 幸寛
・給食(委託)	株式会社ミールケア	

5 各係 その他 ※◎印はリーダーを示す

係・担当	氏名
▼苦情解決体制 苦情解決責任者 苦情受付担当	長岡 大岩
▼防災・防犯安全	防火管理者：◎山田 大岩 各クラスリーダー
▼シフト 勤務調整 シフト作成	◎大岩 有川 相川 東 栗山
▼こぼとだより(園だより)	◎有川 小濱
▼ホームページ	◎有川 小濱
▼研修(研修)	◎有川 大岩
▼パステル (園芸・季節のテーブル、生き物)	園芸 ◎四野宮 野口 堀米 涌井 季節 ◎鹿島 平井 阿弓 大池 生物 ◎肥沼 神谷 本間 (移動動物園補助 フリー)
▼外部からの保育支援 (チャイルドフードラボ・子ども家庭支援センター 巡回・音楽療法・太鼓・英語)	◎有川 大岩 幼児職員
▼男女雇用機会均等推進者、セクシャル・パワー ハラスメント防止、育児休業・介護休業等に関する ハラスメント相談窓口責任者	◎大岩
▼地域との交流事業 (保育所体験・ひよこ学習 落語会 人形劇 老人ホーム訪問(新規))	保育所体験 ◎有川 大岩 ひよこ学習 ◎大岩 弦弓 落語会 人形劇 ◎フリー
▼人事考課検討(麦の家共通)	◎上田 大岩 佐々木
▼ぱくぱく(食育、給食会議)	◎大岩 有川 平井 園長
▼実習担当	◎大岩 有川
▼ステップ	◎小野塚 北山
▼くじらタイム(5歳児)	◎大岩 有川
▼法人研修(麦の家見学 合同宿泊研修)	◎上田 合同宿泊研修 上田 弦弓
▼ランチ会(職員交流事業)	◎有川 上田
▼年間行事 ①入園連絡会 保育連絡会 ②若葉の日(3歳 4歳 5歳遠足) ③音楽鑑賞会(5歳児) ④すいか割り(1~5歳児)  ⑤夏祭り ⑥敬老の日の会(9月)  ⑦保育参加(7月~11月) ⑧プレイデー(11月) ⑨高尾山遠足 ⑩お楽しみ保育・焚火 マッチすり体験(5歳児) ⑪劇団かぜのこ ⑫東小学校・学童見学	◎上田 各クラスリーダー ◎幼児担当職員 ◎幼児担当職員 フリー ◎各クラス担当職員 乳児 有川 幼児 大岩 ◎各クラス担当者 大岩 ◎各クラス担当者(1歳~) 乳児 有川 幼児 大岩 ◎各クラスリーダー ◎大岩 各クラス実行委員 ◎幼児担当者 有川 ◎幼児担当者 大岩 ◎フリー 幼児担当者 ◎幼児担当者 フリー

## 6 業務分担 ※◎はリーダーを示す

	氏名	担当業務
園長	長岡 好	施設管理、運営の統轄、契約、公印管理、関係機関との連絡調整、法人及び関係機関との連絡調整、保護者の相談、理事会・評議員会事務、苦情解決責任者、外部機関との連携 その他法人指示事項
副園長		園長補佐、職員と施設の連絡調整、各会議統括・資料作成、各部署との連絡調整、法人事務、外部機関との連携 他
副主任	大岩	園長補佐、職員と施設の連絡調整、クラス会議出席（乳児 幼児）、各部署との連絡調整、外部機関との連携 職員育成（リーダー・サブリーダー他）のための業務の確立（人事考課他）業務の効率化等の提案 新規業務の立案 計画 実行 業務の質の向上 BCP・安全計画の完成 リーダー・ステップ会議議題提案 研修計画 仕事場の環境の整備 修繕・廃棄その他の施設整備管理 その他 職員に関わる規定の改正の助言 他
フリー	有川	勤務調整 有給休暇他の推奨 乳児・幼児クラス補助 相談役 各行事全体の企画補助他、地域交流事業、子育て家庭の支援事業、ボランティア・研修生の受け入れ、園見学者対応、新入園児・一時預かり・定期利用保育の対応・講師の等対応他 地域の落語会など地域支援事業の担当
たんぽぽ組 (0歳児)	◎平井 神谷 堀米 大池	保育業務全般、保育計画・個人別月案・保育保健日誌・児童票管理、クラス会議実施、保育環境の整理整頓、おもちゃや絵本の入替、保育物品の修繕・廃棄・補充の手配 他クラスや部署との連絡調整他
あじさい1組 (1歳児)	◎佐々木 白神 栗山 本間	同 上
あじさい2組 (1歳児)	○野口 阿弓 北山	同 上
ひまわり1組 (2歳児)	◎東 肥沼	同 上
ひまわり2組 (2歳児)	○鹿島 涌井	同 上
さくら組 (3～5歳児)	◎小野塚 山田	同 上（個人別月案除く）
けやき組 (3～5歳児)	◎相川 四野宮	同 上（個人別月案除く）
看護師	弦弓	看護業務全般 各クラス保育士 保健係との連携 園医との連絡 衛生管理 保護者との連携 施設の連絡調整 保健所 子ども家庭支援センター 小金井市保育課との連携 施設環境の整備 他
保育補助	今井 正木 濱田	早番・遅番保育、日中の保育補助、日誌、

(フリー)	大西 井田 加来 木村 大津 荒閑	お便り帳の記入 行事への参加 その他、指示事項
事務員	◎上田 小濱	事務の項参照
用務員	渡邊 宮下	清掃、ゴミ管理、保健衛生物品の発注・管理、登園降園時の自転車誘導、園庭管理、施設の修繕 その他指示事項
産休育休職員	佐藤(若) 柴田 掛橋 岩堀	

## 7 各係から

### (1) 苦情解決体制

#### 目 的

保護者の方々や地域の苦情・相談について、業務の改善等を行い速やかに解決するよう努める。

苦情対応責任者	園 長 長岡 好
苦情受付担当者	大岩 由香里
第三者委員	井爪 利恵子 志波 直男

#### 活 動

- ①苦情があった場合には、苦情解決制度のもと速やかに対応し改善する。
- ②保護者には、入園前の説明会にて、制度の説明と第三者委員の紹介を行う。
- ③ホワイトボードに第三者委員の連絡先やシステムを掲示し、保護者が相談しやすい環境を整備する。
- ④内容によっては、その旨をホームページにて公開する。

### (2) 防災・防犯安全

#### 1 防災について

#### 目 的

地震や火災などの災害が起きた際、園児を速やかに安全な場所へと避難させ、保護者にお渡しできるよう確実に訓練を行う。一斉配信メールなども活用し、迅速に行動できるようにする。

#### 活 動

- ①月に1度の避難訓練を様々な時間帯で実施しながら充実したものにしていく。(10月と2月は抜き打ち)初期消火は消火器の場所確認も兼ねて消火器を實際手に取って行う。
- ②災害伝言ダイヤル(171)を使用した引き取り訓練実施。(9月と3月)
- ③防災設備は全職員に周知する。定期的にしつかりと点検を行い、万が一に備える。
- ④避難訓練は消防署と連携した通報訓練も行う。
- ⑤一時避難場所や広域避難場所への訓練も実施する。
- ⑥毎年9月と3月に災害備蓄の点検を行う。
- ⑦防災係、看護師による施設内研修の実施。(6~7月応急手当訓練、10~11月頃施設内研修、3月消火器訓練)

⑧備蓄の災害用非常保存食の試食会(幼児クラス対象)の実施。(非常保存食の賞味期限前の時期に実施)

## 2 防犯訓練について

### 目 的

不審者が現れた時には非常通報装置を作動させ、警察に連絡する。また速やかに園児を避難させ、安全が確保できるよう訓練を行う。

### 活 動

施設内研修の計画と実施(6~3月頃)

(小金井警察署・非常通報装置の業者による研修も実施)

## (3) シフト

### 1 勤務調整

#### 目 的

日々の職員配置が認可保育所の配置基準を満たし、施設全体として滞りなく業務が行われるようにし働きやすい職場環境を目指す。また園長との業務調整を行う。行事や食育、地域交流、早番・遅番、太鼓など、月や年間の行事に合わせたシフト調整を行う。職員の体調管理や有給休暇調整(年5日消化義務の達成)などにも配慮し、長く働きやすい職場を目指していく。また2年を超えて繰り越せない有給休暇について、有給休暇申請書の下段に失効分〇〇日という文言を入れて職員自身も休暇管理をしやすいようにする。さらに、産休・育休・育児短時間勤務・介護休暇・介護短時間勤務など様々な勤務形態についても、近隣の保育園の状況も聞きながら、できるだけ職員全員が平等に相手を思いやり、施設とも協力しながら「働きやすい労働環境の構築」ができるような職場環境の構築を目指す。

#### 活 動

- ・各種申請書の確認⇒希望休、特別理由申請書については締め日に園長確認・承認⇒シフト配布後各自、承認申請書の提出⇒施設が承認
- ・産休・育休・育児短時間勤務・介護休暇・介護短時間勤務については、園長に相談⇒事務より各制度について説明⇒取得にあたっては、施設の承認⇒書類の提出

### 2 シフト作成

#### 目 的

「職員が働きやすい職場環境の構築」に向けて、円滑に業務が行えるよう、行事や会議の予定、有給休暇の消化、作業の割り振り等を考慮して作成する。仕事についても、業務の効率化や負担軽減を常に施設に提案し、保育の質を下げることなく、業務を計画していく。今年度も引き続き「勤務プロ」を使用し、スムーズなシフト作成を行っていく。

#### 活 動

- ①シフトや有給に希望がある職員は2ヶ月前の15日までに申し出るよう周知する。その際、クラス職員と相談をしているかなど申請書に記入。(その後園長確認)
- ②当番や定休等に偏りがないよう、回数を確認しながら作成する。

- ③行事・当番等をもとに、前日までに職員配置をホワイトボードへ記載する。
- ④時間外勤務を減らし各職員の負担が少なくなるよう作業の時間を作る。その際、職員間で偏りが出ないように配慮する。
- ⑤特に有給休暇取得については規程通りに確実に実施し、休みの取りやすい日があれば職員への声掛けを積極的に行う。(計画的な年5日の有給消化やリフレッシュ休暇取得を促す。)
- ⑥年間行事に基づいて休み希望を避けて欲しい日が確認できるカレンダーを作成し事前に周知する。休暇取得の管理がしやすくなるようにするとともに、人員不足等による保育への支障を無くす。
- ⑦特別理由申請書を新たにつくり、園長に提出することにより、ご家庭の事情に合わせた働き方ができるよう支援する。
- ⑧勤務表プロを使用し、スムーズなシフト作成に努める。

#### (4) こぼとだより(園だより)麦笛(園長だより)各クラスだより

##### 目 的

保護者と保育園がより協力しあい子どもの育ちを支援するために、保育園生活の様子等をこぼとだよりを通して伝え、また、外部の関係者にもこぼとだよりを送付し、園の様子を知って頂く良い機会とする。読み手も、出来るだけ参加できる便りを作成する。連絡事項も多いが、それだけでなく保護者支援につながるような保健や食育といった内容も掲載する。麦笛では、園の理念や方針、保育への思いを園長が伝えていく。クラス便りは各クラスの任意とし、発行月・内容は各クラスで検討する。

##### 活 動

- ①二ヶ月ごとに作成担当を決め、遊びや生活について等コンセプトを決めて掲載する。
- ②誕生日の児、予定、寄付金・物品に対する御礼等を掲載する。
- ③できるだけ子ども達のいきいきした姿を写真に掲載する。
- ④麦笛(担当:園長)やパステル系の記事も掲載する。
- ⑤クラス便りは、家庭でお願いしたいことや保育計画などを記載する。

#### (5) ホームページ

##### 目 的

インターネットを通じて、より多くの方にこむぎ保育園の存在を知って頂く。又、在園児向けのページに写真を掲載し、保護者に園児の様子を伝える。内容の確認や使い勝手なども定期的に確認していく。

##### 活 動

- ①園の考え方や園生活の様子(クラスで持ち回り、月1回程度)、お知らせ等を掲載し、閲覧者・保護者に伝達する。
- ②掲載画像は園児のプライバシーに配慮する。
- ③在園児保護者向けの写真は、全園児が均等に掲載されるようにする。写真掲載については入園時に保護者に了承を得る。
- ④苦情解決実施要領により、苦情があった際には内容を掲載し、開かれた保育運営を目指す。又、その件数を記載する。苦情がなかった際はその旨も掲載する。
- ⑤入園のしおりと決算書の開示を行う。

- ⑥パソコン内の写真を整理。年度末に写真をまとめて外付け HDD に保存する。
- ⑦求人募集について、最新の情報を掲載していく。
- ⑧感染症や災害について、園の基本的な考え方や注意して頂くこと、現状の様子等もタイムリーに発信することで、被害を最小限にし、安全安心な業務を実施する。

## (6) 研修

### 目 的

正規職員が経験や人事考課によって出された個人の研修意欲をもとに、個人の研修計画を立案する。また、保育・保健・防災等の施設内・施設外研修を取り入れ、施設全体として業務の標準化と保育の質の向上を目指す。正規職員だけではなく、臨時職員も参加できる機会を増やしていく。研修後の報告書は回覧し、全職員で知識を共有し、すみやかに業務へ反映させる。また職員会議でも内容を発表し、実際に本人が強く感じたことや実践できる内容を、顔をみながら報告することで、研修の内容をより深く共有する機会とする。その他にも、チャイルドフッドラボより、保育の巡回指導を受け、その内容を職員会議で共有している。以前に実施していた、府中市にある「さくらんぼ保育園」へリーダー・サブリーダーが1日体験実習に行くことも決まった。保育の質の向上につなげていけるよう努める。

### 1 法人・施設内研修

- ①保健研修
- ②消防研修
- ③久滋医院 小林先生による、年1回の保健研修の実施(9月)
- ※ 詳しくは別表5の施設内研修年間計画表 参照

### 2 外部研修

研修内容	主催者
保健・主任部会	東京都社会福祉協議会
新人社員合同自衛消防訓練	小金井消防署
東社協関東ブロック保育研究大会	東京都社会福祉協議会
民間保育園経営研究セミナー	全国民間保育園経営研究懇話会
保育に関する研修	随時
会計や行政通知、社保等に関する研修	随時
地域広域活動研修	東京都社会福祉協議会
さくらんぼ保育園体験実習(1名1日) ×5回 予備日1日	5/28 6/5 7/1 8/1 9/6 10/8

※ 処遇改善Ⅱに対応したキャリアアップ研修を経験や技能に合わせて、個人で計画的に取得していく。

## (7) パステル(保育環境)

保育環境は、長時間保育園で過ごす子ども達にとって非常に重要である。居心地がよく、季節感にあふれ、日本の伝統的な行事や風習も感じられるような環境を心がけ、保護者の方々にとっても、ほっとできるようなものを提供するよう努める。

## 【園 芸】

### 目 的

植物を育てることで、生命科学の神秘を知り、育てることのおもしろさや、楽しさを感じ、観察や成長を見守る中で、植物への愛情を育てる。将来自分で植物を育てるきっかけ作りにもなるよう努める。

### 活 動

- ①栽培する植物の種や苗、肥料等必要物品の購入。
- ②どのように植物を育てるか、係会議やクラス会議、子ども達と相談する。
- ③その後の植物の管理。幼児クラスで描画を取り入れる。
- ④毎月係会議を開催し、報告書の提出と職員会議で活動内容を発表。

### 年間予定

- ・4月から8月までの間、新園花壇でひまわりの花を子ども達と栽培する。(ひまわりプロジェクトへの参加)
- ・5月から9月までの間、プランターで夏野菜を子ども達と栽培する。
- ・11月下旬に新園花壇にチューリップの球根を植える。
- ・園庭の藤の花やハナミズキの成長を定期的に観察し、必要に応じて、雑草を抜き、剪定や肥料を施す。
- ・新園まわりの雑草や園庭の雑草を、係としてきちんと管理していく。子ども達に雑草を抜く経験を積むことを説明し実践する。雑草を抜くための作業時間をシフト係につくってもらい、または交代で管理作業を行うシステムを作る等を目標にする。特に春先から秋までの間、近隣の方々がみても良く管理された施設という印象を持ってもらい、地域の方々の「憩いの場」としても活用されるよう努力する。

## 【花・季節（玄関）のテーブル】

### 目 的

季節感のある環境を子ども達や保護者が見ることによって、四季を感じ、想像やファンタジーの世界が広がるような空間作りを行う。日本の伝統文化を大切にし、季節にあった装飾を提供することにより、文化やその季節を身近に感じられ、親子の対話にも役立てるような支援につなげる。

### 活 動

玄関に自然素材を用いた季節の花や実物のオブジェなどを飾ることで、都会ではなかなか感じることでできない四季を、五感を使って体感する。羊毛や草木染の毛・本物の食材を使って月や行事に合わせて手芸等を行い、手作り・温かみのある物を飾っていく。

各クラスや玄関、階段の観葉植物の管理も担当を決め、クラス職員と協力しながら、確実に実施していく。忘れないよう毎月の会議で担当の確認を行う。

5月には観葉植物の土の入れ替えも実施する。係の行事として、染物の日を行う。年長児対象に行い、完成した染物をプレイデーではちまきとして使用できるよう毎年8月ごろに年間行事として組み込む。又、それに向けて事前準備を行う。

担当や計画表も作成し、毎月着実に実施していく。

・月々の玄関や階段の季節のテーブル計画(階：階段スペース)

4/1～20	入園おめでとう	10/1～30 10/15～30	本物のかぼちゃ ハロウィン
4/21～5/6 5/7～5/31	子どもの日 春の飾り	11/1～11/30	木の実 (各階)
6/1～6/25	梅雨 (階)	12/1～12/25	クリスマス
6/26～7/7	七夕	12/26～1/20	お正月
7/8～7/31 8/1～8/31	夏野菜 海 (階)	1/20～2/3 2/4～20	節分 冬の飾り
9/1～30 十五夜の週	食欲の秋 (階) 十五夜	2/21～3/3 3/4～	ひな祭り 春の飾り

【生き物係】

目 的

園で生き物を飼う事で様々な生き物を子ども達が身近に感じられ、命の大切さに気付けるように環境作りを行う。また、都会のマンションなどで子育てをしているご家庭も多いことから「移動動物園」を園庭で行うことにより様々な動物に間近で触る体験を増やし、こども達が動物に親しむことができるよう努める。また、人間の生命の誕生について幼児期から学ぶことの重要性や子どもの性的犯罪対策として「自分の体は自分で守ること」など性に対する考え方を看護師等から5歳児に話す機会を設ける。その中では自分自身や他人の命を大切にすること、思いやることについても子ども達に伝えられるようにする。そのほかにも、自然の生き物を大切にすることやSDGSの観点から幼児クラスを中心に、リサイクルについて学ぶ機会を設け、日々の生活の中でゴミの分別を意識できるようにする。

活 動

- ①玄関で飼育しているメダカの世話をし、子ども達が生き物に対して愛着を持てるようにする。餌やり当番活動等、子どもたちが実際に触れて飼育する機会も設ける。
- ②移動動物園では、近隣の方々にもちらしを配布し、こむぎ保育園の園児や保護者のみならず、地域の方々にも喜んで頂けるような企画をする。
- ③アリの観察やイモリ、おたまじゃくし等も各クラスで飼育できるか検討していく。カエルやザリガニ、虫等は各クラスで継続して飼育を続ける。
- ④人間のからだのしくみや命の大切さについて、絵本や紙芝居などの様々なツールを通して、わかりやすくこどもたちに伝えていけるよう努める。
- ⑤SDGSの観点から、世界的なゴミ問題やリサイクル活動等に触れ、園児がすすんでゴミの分別を行える環境を作る。(幼児クラスで実施)

(8) 外部からの保育支援

【一般社団法人 チャイルドフッドラボ 羽鳥先生 巡回指導】

目 的

支援の必要な園児の対応の仕方や保育について、適切な指導を頂き、日々の保育に役立つような援助を受けることにより、園児のよいところを伸ばし、保育士の保育の質をあげることを目的とする。できるだけ全クラスが平等に保育の援助を受けられるように、フリーが配慮をしていく。

## 活 動

年 5 回、先生に来園していただき、午前中に 1 クラス観察してもらう。午後はクラス担任とカンファレンスを行う。事前に先生にお伝えしておきたい情報があれば、メールで連絡をする。

### 【小金井市子ども家庭支援センター巡回訪問】

#### 目 的

虐待等の家庭について情報交換を行い、適切な支援が行えるように連携していく。

## 活 動

年 1 回、小金井市子ども家庭支援センターの訪問を受け入れる。その他にも、随時、ネグレクトや虐待を疑うケースがあった場合には、すみやかに複数の職員で確認後、子ども家庭支援センターに連絡をいれ、対応をしていく。

### 【音楽療法】

#### 目 的

音楽療法士の近藤靖子先生により、2 歳児～5 歳児の園児を対象に、音楽を使って身体を動かし、しなやかな体と豊かな感性を培う療育を行う。参加できない児童が無理に参加することがないように、成長を待ち、柔軟に対応していく。

終了後は、幼児クラス職員と近藤先生による、音楽療法後のディスカッションの時間を設け、音楽教育をどのように取り入れていくか、考えていく。

## 活 動

- ①日 時 毎月 1 回 午前 9 時 10 分～11 時（年齢又はクラス別 30 分）
- ②場 所 ひまわり組 さくら組保育室
- ③カンファレンス 活動後、担任と活動についてのカンファレンスを行う。

### 【太鼓】

#### 目 的

東久留米「楽鼓」代表 井上玲子先生の指導のもと、5 歳児を対象に、日本の伝統文化である太鼓を体験することで、日本古来の音楽に興味を持ち、リズム感を育む。練習の成果を 11 月のプレイデーで発表する。

## 活 動

- ①日 時 5 歳児 4 月～12 月 4 歳児 1 月～ 月 1 回
- ②場 所 けやき組保育室

### 【陶芸】

#### 目 的

5 歳児を対象に、月に 1 回「藤本陶芸教室」の藤本先生に来て頂き、創作意欲を育む。実際に粘土に触れ、焼きあがった自分の作品を家庭に持ち帰り使ってみることで、保育理念「本物を五感で感じる」保育を実践していく。「自分でつくることができる」という体験をする。卒園製作の完成後、4 歳児が陶芸を学ぶ。

## 活 動

- ①日 時 月 1 回 5 歳児（2 月～：4 歳児）午前 9 時～ 40 分間
- ②場 所 さくら組保育室

### 【英語であそぼう】

#### 目 的

小金井市在住のエリカ先生による、楽しい英語で遊ぼうという時間。1歳児～5歳児が月に1回、日本以外の国の言葉や音楽、手遊び、絵本などに触れることにより、「外国を旅する」ことができるような体験を通して、異文化を知り、グローバルな人間形成を育むことができるような支援を行う。

#### 活 動

- ①日 時 月1回 1歳児～5歳児 各クラス 20分前後
- ②場 所 各教室

## (9) セクシャル・パワーハラスメント防止

### 育児・介護休業等に関するハラスメント防止相談窓口

#### 目 的

就業規則第45条3の規程に基づき、職員が様々なハラスメントを受けた際の相談窓口となり、ハラスメントの防止に努める。防止に努めるとともに、ハラスメントの報告があった場合には直ちに園長に報告し、解決へと導く。働きやすい職場環境の構築に努める。

## (10) 地域との交流事業

#### 目 的

社会福祉法人改革が叫ばれ、本体事業だけではなく地域貢献が義務付けられてきている。地域活動を積極的に行い、地域に貢献する。

### 【出産を迎える親の体験学習（ひよこ学習）】

#### 目 的

出産前後の母親、父親または育児を手伝う祖父母を対象に、日頃の様子について話を聞き、困りごとや悩み等に寄り添っていく。

#### 活 動

- ①日 時 年6回
- ②場 所 新園絵本の部屋またはたんぽぽ組保育室
- ③対象者 地域の妊産婦、そのご家族向け
- ④内 容 地域の出産前後の母親や父親が0歳児の保育の様子を見学する。乳児との関わり方、離乳食の進め方、スキンケアの方法などの学習。保護者同士の交流を深め育児中の孤立を防ぐ。また、質問に答えて出産や育児の不安を解消する。わらべうたや触れ合い遊びも紹介し、子どもとの関わり方も提案していく。

### 【保育所体験（おやつを食べよう・園庭開放）】

#### 目 的

孤立しがちな地域の子育て家庭の親子が、おやつを園児とともに食べる等、楽しい時間を体験してもらう。保育園が身近に感じられる機会となるよう工夫し、園生活の様子を知ってもらう。

#### 活 動

- ①日 時 「おやつを食べよう」年6回 「園庭開放」4月から毎週火、水曜日
- ②場 所 「おやつを食べよう」現園多目的室 「園庭開放」園庭
- ③対象児 地域の子育て家庭の親子
- ④内 容 「おやつを食べよう」  
地域の子育て家庭の親子等が在園児と一緒に歌やお話を楽しむ、おやつを食べる等、保育園の生活を体験する。  
「園庭開放」  
地域の子育て家庭の親子等が在園児と一緒に園庭での遊びを楽しむ。

【小中高生の育児体験受け入れ】

目 的

小中高生が保育園という場所に興味や関心を持ってもらえるような交流を行い、様々な経験を通して、共に学び楽しい時間を過ごすことができる場とする。

活 動

- ①日 時 年 10 回 主に学校の夏休み期間
- ②場 所 各保育室
- ③対象児 小中高生
- ④内 容 在園児と共に過ごし、保育体験を行う

【「噺を聞く会」(落語会 新小金井西口商店会 主催)】

活 動

- ①日 時 随時
- ②場 所 こむぎ保育園 新園 2階
- ③対 象 新小金井近隣住民 こむぎ保育園 保護者や職員
- ④内 容 以前は商店会により行われていた落語会を、貸ホールとしてこむぎ保育園で実施することにより、収容人数を増やして多くの方が参加できるようにし、地域貢献につなげていく。

【メディカルリハビリホーム くらら武蔵境 訪問】

目 的

核家族化が進み、ご高齢の方々と触れ合う機会のない園児が、施設を訪問することにより、様々な経験をし、ご利用者の方々と楽しい時間を過ごす機会をつくる。

活 動

- ①日 時 5月 6月 7月 9月 10月 12月 1月 2月  
10時30分～ 30分間訪問する。
- ②内 容 ホームにて、歌や折り紙、園芸の手伝いを行う。

## (11) 人事考課

目 的

職員一人一人が1年間の「業務目標」を作成し、目標達成に向けたプロセスの振り返りや日頃できない職員間の相談の場を設けることにより、職員のモチベーション向上、人材育成につなげる。特に新人職員の様子には気を配り寄り添い、日頃の悩みを気軽に相談出来る場として機能するよう努める。さらに施設として業務の質の向上と円滑な運営を目指す。職員に制度への理解を深め、活用できるように努める。(人事考課実施要項に基づく活動を行う。)

また今年度も引き続き、職員の勤務態度などを勘案したものを人事考課に反映させる。「がんばっている職員にはがんばっている評価」ができるよう、活用する

ことで職員の向上心を養う。

## 活 動

- 4月 人事考課目標シートの提出
  - 6月 新人面談
  - 9月 上半期の人事考課目標シートの振り返りの記述 提出
  - 10月 新人面談
  - 1月 下半期の人事考課目標シートの振り返りと  
業務評価シート表の自己点数表をリーダーへ提出  
人事考課別紙については臨時・正規職員全員提出
  - 2月上旬 係から園長へ提出
  - 2月中旬～3月 シートを基に希望者は園長との面談
  - 3月 評価
- ※評価は次年度の処遇改善費や賞与に反映していく。

## (12) ぱくぱく(食育)(別紙参照)

### 目 的

ミールケアと連携を図りながら食育を実施し、園児や保護者の方々が食育体験を通して、食に興味や関心を持ち、健康に過ごすことができるよう支援していく。生きていく上でもっとも大切な「自ら食物を摂取し、自ら健康な体を維持していく」という人間の根幹を育む教育の基礎を培う。

箸や茶わん、皿の置き方・使い方を学習する機会や、日本人としての食事の作法を伝える。

- ①食事や食材を通して、食べ物の認識を広げることを目的とする。
- ②0～1 歳児・・・いろいろな食物に触れ、味わい、素材の味をしっかり覚え、様々な食材を摂取できるようにしていく。野菜嫌いの子どもにならないよう新鮮な野菜を使用し、また自ら食事をする意欲につなげる。
- ③2～5 歳児・・・集団生活や様々な食育の経験を通して、食を営む力の基礎を育てる。食育は子ども達の主体的な活動を目的とし、職員やミールケアはあくまでも、補助的なスタンスを忘れない。

### 活 動 (別紙食育計画参照)

- ①給食会議 (毎月1回)
- ②食育活動の実施 年9回以上

## (13) 実習担当

### 目 的

保育士を目指す学生が実践現場での体験を通して、保育の基礎を学び、よりよい保育士となれるよう支援する。また、職員が気付かない日常の保育のフレッシュな感想を聞き、職員の気づきや明日への保育の活力につなげる。求人難が続くため、こむぎ保育園に就職を考えて頂ける良いきっかけ作りともなるようにする。

### 活 動

- ①オリエンテーションを行い、注意事項や園の概要、保育園の全体像を伝える。
- ②保育士としての職業倫理と子どもの最善の利益の具体化について学ぶ機会を設け

- る。
- ③個人情報には十分留意する。
  - ④実践を通して、保育の喜びや仕事の大変さも伝えていく。
  - ⑤保育実習反省会の実施。
  - ⑥こむぎ保育園への就職について、希望があればアドバイスを実施していく。

## (14) ステップ (保育の向上 インシデント アクシデント定着に向けた活動)

### 目的

保育の質を高めるために、一人一人の保育技術の向上を目指し、自発的に仕事をする姿勢や、自ら学ぶ力をつけていくための、きっかけ作りとなるような係活動を目指す。職員間で保育観を共有する場を作る。

### 活動

- ①3つの柱に沿って教育内容の改善充実を図る。立案したカリキュラムが目指す方向を踏まえて日々の実践が重ねられるよう、カリキュラムの評価・改善を行う。
- ②個人別指導計画、保育日誌の在り方について職員に周知する。
- ③保育士の保育技術のポケットを増やす為に、リズム・手遊び・工作等を伝える。
- ④保育改善への目標地点を決める。(いつまでに何をできるように等)
- ⑤社会人、保育士としての社会性や態度、先輩職員との関係性を伝えていく。
- ⑥職員の学習の機会を保障する。
  - ・今年度も職員会議の最後の時間は、ステップとして使わせてもらう事は継続。
  - ・月に1クラスが事例(子どもの対応の悩みや成長のエピソード、職員の動きや連携の仕方等)を提供する。
  - ・各クラスはその事例について話し合い、事例提供したクラスに返答や自分たちの考えを伝えていく。
  - ・発表の最後に係から関連の書籍や注目する発達のポイントを伝え、以降自分でそれらを用いて調べてみようとする意欲に繋げていく。
- ⑦インシデントやヒヤリハットについて、「気づき」として職員に出してもらいフィードバックを行う。その後検討、職員間のコミュニケーションを増やし、アクシデントが発生するリスクを軽減できるよう努めていく。

## (15) くじらタイム (5歳児)

### 目的と活動

5歳児を対象に教材を利用しながら「遊び」を通して就学に向けたはさみや鉛筆の正しい使い方、数や量、ひらがなの習得等を目指す。フリーの職員や幼児クラスの職員を中心に、月に1回程度、30分～1時間弱の活動をクラス毎に実施することにより、スムーズな小学校への移行に繋げる。加えて、子ども達の興味や関心など、非認知能力を高め「やったよ、できたよ」といった満足感や自己肯定感の育ちにもつなげ、小学校にあがってからの学習意欲にもつながるようにしていく。友達と協力して取り組む活動も取り入れ、協調性や社会性も育てていく。

## (16) 法人研修

### 目的と活動

麦の家とこむぎ保育園で働く法人職員の連携を図り、それぞれ福祉の業種は違

っていても、同じ「福祉の心」を学ぶことで、それぞれが違った視点で自分の仕事を見つめ直すことができるような機会とする。また、職員が数名ずつ発表する機会を得ることで、自分の仕事の振り返りの機会ができ、自信にもつながっていく。さらに他の施設の職員と交流することで、友好福祉会の職員として、仕事に誇りややりがいを持てるよう皆で共有していく。また、5～9月にかけて月1回、参加人数2～3名で麦の家を見学する。

## (17) 職員交流事業 ランチ会

### 目的

なかなか勤務時間が合わず、一緒にゆっくり話す機会の無い職員（正規・臨時問わず）が、小グループ毎に、職種に関わらず一緒に、ごはんを食べたりしながら、話をするすることで、互いを知り、協力してこむぎ保育園の仕事にやりがいを持てるような場をつくり交流を深める。

### 活動

ランチ会：5月29日（月）～ 13～14時の間、正規・臨時職員問わずに一緒にごはんを頂く。

## (18) 年間行事

### ① 入園説明会 保育連絡会

各クラスの職員が保護者へ、進級したクラスの様子を伝え、見通しを持った保育や家庭環境をつくりあげていけるよう協力する場とし、よりよいクラス運営を実施できるような連絡会とする。

園からの連絡をしっかりと伝えておくことで、園運営を円滑にしていく。また、保護者同志の懇談できる場にする。こうした活動を通し、園と保護者がよりよい関係作りができるよう努める。

### ② 若葉の日（3～5歳児、野川公園）

野川公園へ遠足に行き、普段の散歩とは違った時間の経過と簡単なレクリエーション等を縦割りクラスで体験することにより、成長を促す経験となるよう支援していく。

### ③ 音楽鑑賞会（5歳児）

宮地楽器ホールで行われる「こどものためのコンサート」を鑑賞し、良質な芸術に触れる体験とする。理念にもある「本物を五感で感じる」機会となることを目指し、TVやDVDでは体験できない感受性を育む。

### ④ すいか割り（1～5歳児）

すいか割りを通して、季節を感じ、クラスで協力をしてすいかを割ることで、食育にもつなげる。目隠しをすることで、目以外の感覚に注意を向け、友達の声援に耳を傾け、自分の体を制御させる感覚を学ぶ。

ミールケアとの連携（包丁やボールバットの貸し借り すいかの発注など）やビニールシートの準備など、全体に関わる行事のため、フリーさんが乳児と幼児の調整役を担えるよう、協力をしていく。0歳児クラスもすいかに触れ「本物に触れる」経験をしていく。

### ⑤ 夏祭り（1～5歳児）

1～2歳児は8月の第4週の金曜日に実施する。3～5歳児は、8月の第5週の金曜日に実施する。6月頃より子ども達が立案し、友達と相談、協力しながら、お店屋さんごっこが子ども達の主体的な活動となるよう、保育士が援助、協力して

実施する。長い期間をかけて、活動をしていくことで、忍耐力や相談して協力する力を養う。

#### ⑥敬老の日の会

9月の敬老の日の週にコロナ禍以前の実施の仕方に戻す。日頃なかなか一緒に過ごすことのできない祖父母と保育園で交流を図り、思い出に残る楽しい会となるよう実施していく。また、祖父母の方に手紙(はがき)を書くことで、離れた場所においても、相手を大切に思う気持ちを伝えることができることを学び、小学校にあがっても、手紙を書く習慣できることを願う。

#### ⑦保育参加

保護者の方に保育園で1日(9-16)過ごして頂き、お子様の園生活やこども同士の関わりを知り、保育士の仕事も知って頂くことで、園と家庭とが協力しあいながら、お子様をともに育てていけるようになることを目的として行う。子ども達の発達を知ることで、保護者同士の誤解や考え方の違いを回避できるような支援も行っていく。また午睡中に職員とゆっくり面談することで、育児の悩みや不安を解消していく。

時期：おおよそ7月～11月の保護者の希望する日

#### ⑧プレイデー

園児同士の協力や身体能力の発達、人前で演技することができるようになること等、普段とは違うプレイデーという行事を通して、保護者の方や祖父母の方々と子どもの成長を祝う会として実施する。今年度はコロナ禍前と同様に土曜日の午前中に実施する。子ども達に大きな負担の無いよう、その時期の発達段階を踏まえつつ、楽しめる内容を企画する。また地域の子育て家庭の子どもやこれから保育園を考えている保護者の方々の参加も呼び掛けていく。

#### ⑨卒園遠足(高尾山)(5歳児)

こむぎ保育園の「たくさん歩く保育」が、身体と精神の発達の基礎となることの集大成として、高尾山の登山を徒歩で、1合目から歩き通す。友達と時に協力しながら頂上を目指し、安全に配慮しつつ、全員がそろって自分の力で登頂出来るよう、また、就学前の良き思い出となるように支援する。高尾山に潜む「天狗」の由来を事前学習し、昔話や歴史も学ぶ機会とする。高尾山に住んでいる動植物にも興味を広げ、パネルなどを参考に高尾山の生態系も学ぶよう保育士は支援する。また、電車での移動となる為、安全面やマナーに注意して実施する。今年度は麦の家の職員の参加を無くし、保護者(3～4名)にボランティアを募り実施する。

#### ⑩お楽しみ保育(5歳児)

保育園でカレー等を作り食べる。また、簡単なレクリエーションも行う。その中で調理器具の使い方や料理を作る楽しさ、完成した時の達成感を得たりできるように関わる。卒園前に友達や職員との親睦をより深め、同じ取り組みの中で友達との協調性を育みよい思い出となるようにする。

#### ○焚火 マッチすり体験(5歳児)

ろうそく作りや火起こし体験の活動を通して実際の火に触れる。焚火の際は火に枝をくべて、燃える火を囲み、火の大切さや火が生活にどのように関わっているのかを学ぶ。現代社会において、火を体感することが減ってきているため。

#### ⑪人形劇

劇団「風の子」による人形劇を幼児クラスが年1回土曜日に鑑賞。テレビやDVDでは味わえない臨調感のある生の劇を間近にみることにより、子ども達の想像力を伸ばし、ファンタジーの世界を楽しみ、善悪・道徳観・生きることの意味・やさしさ・人への思いやりなどを育てていくことを目的とする。劇団とのやりとりは、フリー職員が担当。事前打ち合わせや保護者への周知、当日の対応も含め、幼児クラス職員と協力をしながら進めていく。

## ⑫東小学校 たまむし学童 見学

目的：就学する児童を対象に、小学校や学童に見学に行くことにより、良いイメージを育み、スムーズに学校生活を送ることができるよう支援する。各クラスの授業風景やひまわり学級、図書室や音楽室、学童を見学し、就学に向けて準備をする。

日時：2月頃

対象児：5歳児

## ⑬卒園式

こむぎ保育園での生活を通して様々な経験をし、友達とともに過ごしてきた最後の行事となる卒園式は、保護者の方と成長を共に分かち合い、卒園を祝う式となるよう、全職員が協力して執り行う。

※上記は複数のクラスが関わる行事もあり、フリーが行事の補助に入ることができるよう、行事会議に出席し、計画や準備に協力する。

## 8 保 健(別表1参照)

### 目 的

施設が安全安心なサービスを提供できるよう、保健衛生の管理を行う。地域の感染状況などの情報収集を行い、園児の体調に留意しながら健康に過ごせるよう努める。また健康に働けるよう、職員への健康管理の推奨も行う。看護師が東京保育士会・保健部会(1回/月)や施設外研修へ参加し、保育園における医療現場の最新情報を取り入れ、感染症予防や衛生管理等も学び、職員への伝達、マニュアルも適時整備していく。食物アレルギーについては依然として該当園児は少ない状況であるが、昨年度より園でエピペンをお預かりすることとなっているため、全職員へのシミュレーション研修や食物アレルギーに対する理解を毎年深めていく。

幼児に対しては保健教育として、水分補給、手洗いや咳エチケットなどを毎年行っている。2歳児クラスへは進級前の保健教育として水分補給や手洗いの必要性、水筒やポシエットの使用方法も一緒に伝えていく。年間保健計画を立案し、職員へ周知していくと共に毎年発展させていく。今年度も子どもたちが保育園生活を快適に送ることが出来るよう学ぶ機会を増やしていきたい。

### 活 動

#### 【定期保健計画(園児)】

- ①身体測定 : 1回/月 全園児(9月と3月は保護者に身長体重グラフを配布)
- ②内科健診 : 0歳児 …4回/年(6月、9月 12月、3月)  
1歳児以上…2回/年(6月と12月)
- ③歯科健診 : 1回/年 全園児(11月)

#### 【職員保健計画】

- ①時間外労働を最小限にし、残業の軽減に努めるための施策。
- ②休憩時間の確保。
- ③職員会議にて目的を達成する為に、各職員が気をつけていく内容をよびかけ、周知する。
- ④労働災害が発生した際には、対策会議(園長、副主任、リーダーが出席)を開き予防策を検討する。またその内容を全職員に周知する。
- ⑤時間休を含め、有給休暇を習得しやすい職場環境に努める。

⑥施設内の環境衛生に努める。

《具体的な活動》

①腸内細菌検査 : 1 回/月 (事務・用務員は除く)

②定期健康診断 : 1 回/年 (6 月より実施)

③婦人科検診の推奨 : 定期健康診断時

④インフルエンザ予防接種 : 年 1 回 (施設補助あり)

⑤労働環境の整備

職員の「心や身体の健康づくり」を心がけ、働きやすく長く勤められる職場環境を構築できるよう、衛生管理者を中心に活動を行う。2 ヶ月に 1 回、職員会議にて、職員が健康で働くことができるよう労働安全の推進に努めていき、労働災害を減らし、広く良好な職場環境の啓発に努める。

【その他】

①保健物品の管理

②施設内研修計画・実施 : 4 回/年以上

③食物アレルギー書類の管理。

④感染症の流行期には、こぼとだよりやホワイトボードへ病名や感染情報等を記載し、保護者へ伝達する。必要時病気についての掲示を行い、感染拡大への注意喚起を行う。また地域の感染症状況の報告の掲示。

⑤子どもの体調変化や症状等についての記録(園務日誌の保健欄、保健日誌)。

⑥保健教育の実施 : 4-5 回/年 (手洗い指導や咳エチケットなど)

## 9 給食

目 的

安全、安心を基本とし、子ども達の発達や個々の状況に合った食事の提供を行う。季節や彩、日本の伝統文化に即した献立と食育計画を実施していく。また毎月のパくぱくだよりに食に関する記事を掲載し、関心を高め、園児や保護者に食に対する意識の啓発に努める。(柵ミールケアに業務委託)

食物アレルギーは園児の情報や知識について職員全体で周知し、毎年研修を行っていく。ミールケアとも連携し、保護者面談への参加、また月 1 回の給食会議でも情報共有していく。

衛生に関しては食中毒に対する意識を常に持ち、防止対策を怠らない。緊急時には、対応マニュアルに沿って、すみやかに行動し、できるだけ被害が広がらないよう関係機関とも連携をとりながら、対応する。

活 動

①月齢に応じた離乳食を実施する。(0 歳児クラスは 3 区分献立表を実施)

②アレルギーや宗教上の理由の代替食、除去食を提供する。また対象の園児には、個人毎に対応した別刷りの献立表を配布。給食前に、保育士と給食内容(除去食、代替食)の確認作業を行う。

③年齢やクラスで分けるのではなく、個々に応じた食器の提供や食材の形状、食べやすさ、味についても検討する。

④温かいものは温かく、冷たいものは冷たく提供できるよう、給食の時間に合わせた食事の提供を心がける。

⑤毎月ホームページに献立表やぱくぱくだよりを掲載。

⑥職員との連携を密にとり、場合によっては保護者対応も行っていく。

⑦異物を発見した場合には、すみやかに食事の提供を中止し、園長に連絡。その後の対応をすみやかに相談し、再発防止に努める。

- ⑧ぱくぱく会議を毎月 1 回実施。ミールケア職員 2 名 園長 保育士 看護師が出席し、食事内容や食事の提供方法、アレルギーや食育活動の打合せを密に行い、安全・安心な給食の提供を確実に実施していく。

## 10 事務

事務内で業務分担を確実にを行い、効率や正確さを高めた仕事を行うよう努める。特に、日頃のコミュニケーションを密に行い、あらゆる事案を共有する事を心掛けていく。また毎月 1 回事務会議を開催し、事務運営が滞りなく進むよう、議論を重ねる。電話や保護者、来客対応は、明るく好感を持って頂けるよう心掛け、相手に合わせた、端的でわかりやすい話し方を目指す。

会計業務では、在園児数や職員数の変更にも常にアンテナを張り、各種申請や書類管理も疎かになる事無く、整備するよう努める。また無駄な時間を省くため、各担当者が計算力等を高め、ダブルチェック機能が不要な場合は省く等、事務作業の簡略化を目指す。

今年度は、連絡帳を ICT 化することによる様々な準備を考え、早い段階から保護者の方々に、「園の様子」をリアルに伝えることができるよう努力していく。

### 【担当表】

担当辞令	職務	担当者
会計責任者 予算管理責任者	経理事務	長岡 好
出納職員	金銭管理	上田 真子
小口現金出納職員	小口現金管理	小濱 舞子
固定資産管理責任者	固定資産の管理	上田 真子
随意契約による担当	随意契約担当	長岡 好

### 【園児】

園児管理	保育システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児の個人情報管理</li> <li>・児童票ファイルの管理 住所変更、保険証、医療証の更新、保護者等の勤務先変更等の管理</li> <li>・園児の登降園時間の管理</li> <li>・延長保育利用者の管理</li> <li>・短時間保育利用者の延長保育利用の管理</li> <li>・連絡帳の ICT 化準備</li> </ul>
	給食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日の各クラスの食数確認</li> </ul>
	保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0 歳 : 年 4 回の内科健診の補佐業務</li> <li>1~5 歳 : 6 月、12 月内科健診の補佐業務</li> <li>・年 1 回の全園児歯科健診の補佐業務</li> <li>・内定者説明会等の保健補佐</li> </ul>

【施設内】

経理	会計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計ソフト 月々の預金現金の入力 仕訳日記帳、予算管理月報等帳票出力ファイリング 予算、決算処理準備</li> <li>・小口現金出納管理</li> <li>・みずほビジネスウェブ 職員給与、業者への振込業務</li> <li>・園児の延長保育利用料金請求業務</li> <li>・地域の方向け「おやつを食べよう」おやつ代金等請求業務</li> <li>・実習生、保育参加等の給食代金請求業務</li> <li>・小口現金、みずほ銀行、ゆうちょ銀行伝票管理</li> </ul>
	給与	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給与ソフト 毎月の給与計算、社会保険料等の管理、年末調整計算</li> </ul>
	税金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民税、所得税の支払い</li> </ul>
補助金等	東京都	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育サービス推進費、キャリアアップ助成金等の申請、請求</li> </ul>
	小金井市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所委託費、各種補助金等の申請、請求</li> </ul>
その他	書類作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園務日誌記入、管理</li> <li>・月間報告書の作成</li> <li>・理事会・評議員会資料の送付</li> <li>・「こぼとだより」の校正、発行、発送</li> <li>・職員会議資料等の集計、作成</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール確認 近隣小中学校の感染症等のメール確認、開示 小金井安心安全メールからの不審者情報開示</li> <li>・施設内、市民掲示板への必要掲示物の掲示</li> <li>・配付物管理</li> <li>・物品の発注、管理</li> <li>・植物の管理 施設内の環境整備</li> <li>・定款・規程の管理</li> </ul>

【職員】

職員管理	勤怠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出退勤管理 有休、超勤、勤務変更管理 人材派遣職員勤怠管理</li> </ul>
	シフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シフト実績管理</li> <li>・毎月シフト入力</li> </ul>
	就業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員名簿管理</li> <li>・職員雇用契約書類関係管理 労働者名簿作成 労働条件通知書、辞令の発令、書類作成管理</li> <li>・職員の採用、退職関連業務</li> <li>・労働局への報告</li> <li>・宿舍借上事業利用物件の契約管理</li> </ul>
	税金等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保険、雇用保険、退職金共済の加入・脱退手続き業務</li> </ul>

その他	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元商店会との連携 商店会主催の行事等への参加、施設開放 月初地域清掃参加</li> <li>・ 来客対応</li> <li>・ PCの窓口、修繕の窓口</li> <li>・ 寄付金品管理・労働保険・資産管理</li> </ul>
-----	-----	--

## 11 会議等

- (1) 職員会議 毎月1回 午後6時～
- (2) 各クラス会議 [園長、フリー保育士、クラス担任、他] 毎月1回
- (3) ぱくぱく会議（給食会議）[園長、フリー保育士、0歳児リーダー ミールケア、他] 毎月1回
- (4) リーダー会議 [園長、副主任（フリー）、各クラスリーダー、看護師]  
毎月2回 各14時～15時
- (5) 防災・防犯安全会議 [園長、防火管理者、訓練担当者、各クラス・部署1名]  
毎月1回 避難訓練または防犯訓練後
- (6) 係会議 月1回 [園長、副主任、フリー保育士、担当職員]
- (7) ランチ会議[園長、全職員をグループに分けて] 年1回 午後1時～2時
- (8) その他 各行事会議等、必要に応じ随時、関係職員にて臨時会議を開催する。  
※月によって、日時に変更有り。

## 12 家庭との連絡等及び保護者との連携

- (1) 入園前提出書類と文書
  - ①入園時－「入園のしおり」「児童票」「生活・発達状況調査」「保護者の状況報告書」  
「緊急時の場合の園児連絡票」「ホームページなどの掲載写真承諾書」「食材摂取  
確認表」（0、1、2歳のみ）「食物アレルギーについて」「アレルギー疾患生活管  
理指導表（アレルギー指示書）」「食事調査」（0、1、2歳のみ）「質問票」「重要  
事項確認同意書」「就労証明書」「園医について」「歯科医について」「持ち物見  
本写真」「SIDSについて」「災害伝言ダイヤルについて」「こがねい安全・安心メ  
ール」「福音館の案内」「はいチーズのご案内」等
  - ②2ヶ月に1回－「園だより」等
  - ③おたより帳の記入
 

0・1歳児	毎日		
2歳児	週1回程度	3～5歳児	質問・ご意見がある場合に記入して頂く
  - ④ホームページに写真の掲載(定期的に更新)

⑤その他、行事のお知らせやアンケートなど

(2) 保護者などの参加行事

保育連絡会（各クラス）（5月） 保育参加・個人面談（7月～11月）  
敬老の日の会（9月） プレイデー（11月）  
入所内定者説明会（2月） 進級説明会（書類配布のみ） 卒園式（3月）他

## 13 施設設備と保守点検

①セキュリティー（防犯）	（株）セコム
②非常通報装置保守点検（年4回）	（株）テルウェル東日本
③消防設備・保守点検（年2回）	（有）モリタ宮田工業
④設備点検（年2回）	（有）モリタ宮田工業
⑤通信回線 保守（随時）	（株）NTTファイナンス
⑥ダムウェイター保守（年4回）	（株）くまりフト
⑦生ゴミ処理機保守点検	（株）エイ・アイ・シー
⑧エレベーター保守点検	（株）フジテック
⑨冷蔵庫	（株）ホシザキ東京
⑩施設改修工事	（株）立花建設 （株）金澤建設
⑪園-SiEN システム（ICT）	（株）サーヴ
⑫特殊建築物定期調査業務（建築設備）	（株）進藤設計事務所

## 14 職員構成、処遇その他

(1) 勤務体制（正規職員）（各 休憩1時間）

①勤 7時00分～16時00分（早番）	⑤勤 9時00分～18時00分
②勤 7時30分～16時30分	⑥勤 9時30分～18時30分
③勤 8時00分～17時00分	⑦勤 10時00分～19時00分（遅番）
④勤 8時30分～17時30分	X勤 6時00分～15時00分

(2) 福利厚生

- ①こむぎ保育園 親睦会への補助
- ②健康診断料、検便、インフルエンザ接種費用の一部補助
- ③被服費の補助
- ④退職共済掛け金 福祉医療機構 退職共済掛け金施設負担金  
東京都社会福祉協議会 退職共済掛け金施設負担金

(3) 第三者評価

- ・今年度は、3年に1度福祉サービス第三者評価を受審する年。保護者と職員に第三者の評価機関よりアンケートを配布し、直接返信してもらう。よりよい保育を目指すため、回答者数をあげるために声掛けしたい。

## 15 保 険

○火災保険 保険名称：店舗総合保険（あいおい損害保険株式会社）

現園	保険金額	建物	109,200千円	設備・什器等	10,000千円
	保険期間	H21.3.27～R11.3.27		保険料	634,420円
新園	保険金額	184,440千円			
	保険期間	R2.3.10～R7.3.10		保険料	307,570円

○ふくしの保険（全国社会福祉協議会）

天災セットプラン(保育所利用者の傷害事故補償 含む)

対人賠償（1名、1事故）	2億円	10億円
対物賠償（1事故）	1,000万円	
受託・管理財務賠償	200万円	
人格権侵害	1,000万円	
自己対応特別費用	500万円	
被害者対応費用(1事故)	10万円	

保育所の什器、備品損害補償  
保育所職員の労災上乗せ補償  
使用者賠償責任補償  
職員の感染症罹患事故補償

以上、プレイヤー等の戸外行事の参加者及び、従事職員にも対応。

## 16 関係団体

小金井市社会福祉協議会 社会福祉法人 法人連絡会 会員（理事長 園長）  
東京都社会福祉協議会 常任委員 保育部会研修委員副委員長（園長）  
全国経営懇 東京経営懇 委員（園長）  
小金井市東小学校学校運営協議会（園長）  
小金井市民間保育園園長会委員（園長）  
小金井市社会福祉士会委員（園長）  
小金井市防火管理研究会委員（園長）  
小金井市ひがし地域包括支援センター 協力会員  
新小金井西口商店会会員  
小金井市東町4丁目町内会会員  
東京都社会福祉協議会 保育部会 保健部会 委員（看護師）  
東京都社会福祉協議会 保育部会 主任部会 委員（副主任）

## 令和6年度 年間保健計画

(子どもたちが健康に発達し、保育園生活を快適に送る事ができる)

		4月	5月
目標		①生活のリズムを整え新しい環境に慣れる ②衛生的な生活習慣を身に付け、生理的欲求を十分満たせるようにする ③戸外で発達に応じた運動を行い、薄着に慣れていく	
保健行事		<ul style="list-style-type: none"> <li>・布団返却</li> <li>・職員園内研修（応急手当）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・布団返却</li> <li>・園内研修（嘔吐研修）</li> </ul>
保護者・園児への働きかけ	0歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規則正しい生活習慣の大切さを知らせる</li> <li>・環境の変化による不安と疲労に注意する</li> <li>・集団生活での留意点を知らせ、保護者とのコミュニケーションを図る</li> </ul>	
	1～2歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進級時、入園時の心身の状況に留意する</li> <li>・環境の変化などによる怪我や事故に注意する</li> <li>・薄着で生活する</li> </ul>	
	3～5歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗い、うがいの仕方と励行（病気の予防）</li> <li>・鼻のかみ方、排泄後の後始末について</li> <li>・自分の身体に関心を持ち、健康安全に生活な習慣が身につくよう働きかける</li> </ul>	
留意点 健康面 安全衛生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健連絡会を実施し、保護者へ保育について理解してもらう</li> <li>・個々の既往歴、予防接種歴、アレルギーを把握、管理する</li> <li>・予防接種の推奨</li> <li>・室内整備、玩具の衛生管理に留意する</li> <li>・万が一、事故が発生した時にはマニュアルに従って適確に対応する</li> <li>・進級、入園による環境変化の事故発生に留意する</li> <li>・体調不良児の早期発見と予防に努める</li> <li>・園内外での事故防止に配慮する</li> <li>・全職員が安全、衛生管理を意識し共通の知識を得る</li> </ul>		

## 令和6年度 年間保健計画

(子どもたちが健康に発達し、保育園生活を快適に送る事ができる)

		6月	7月	8月
目 標		①夏の感染症を予防する ②水分補給を意識し、熱中症を予防できる ③活動と休息のバランスを考えて、無理のない生活を送る		
保健行事		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 布団返却</li> <li>・ 全園児内科健診</li> <li>・ 職員健康診断開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 布団返却</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 布団返却</li> </ul>
保護者・園児への働きかけ	0歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 湿度、温度による衣類の調整や換気に配慮する</li> <li>・ あせも、おむつかぶれ、とびひなどの皮膚状態に留意し、悪化させない</li> <li>・ 食欲、休息、環境に留意し、水分補給を適切に行う</li> <li>・ 爪切りを適切に保護者に行ってもらおう</li> </ul>		
	1～2歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体調不良時の早期発見に努める</li> <li>・ あせも、おむつかぶれ、とびひなどの皮膚状態に留意し、悪化させない</li> <li>・ 食欲、休息、環境に留意し、水分補給を適切に行う</li> <li>・ 爪切りを適切に保護者に行ってもらおう</li> </ul>		
	3～5歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夏の健康管理について（食欲、休養と遊びのバランス）</li> <li>・ 朝食、水分補給の必要性を理解し、毎日適切に摂取する</li> <li>・ 日中の排泄をトイレで行うようにする</li> <li>・ 体調不良を自分で伝えることができるようにする。</li> </ul>		
留意点 健康面 安全衛生		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 熱中症について理解し、予防方法を知る</li> <li>・ 目、耳、皮膚の疾患に注意する</li> <li>・ 腹痛、下痢、嘔吐等の諸症状に留意する</li> <li>・ 生活リズムを崩さない</li> <li>・ 冷房使用時の換気、温度差に注意する。</li> <li>・ 汗をかいたら、こまめに衣類を交換し清潔に過ごす</li> <li>・ 食欲不振や睡眠不足に注意し、体調不良時の早期発見に心がける</li> <li>・ 健診の結果を記録し、異常があった場合には保護者に知らせる</li> </ul>		

## 令和6年度 年間保健計画

(子どもたちが健康に発達し、保育園生活を快適に送る事ができる)

		9月	10月	11月	12月
目 標		①夏の疲れを回復させ、生活のリズムを整え健康に過ごす ②いろいろな運動を楽しみ、心身を強くする ③寒さに負けない体づくりが出来る、風邪の予防ができる			
保健行事		<ul style="list-style-type: none"> <li>・布団返却</li> <li>・乳児医療証・保険証、緊急連絡先の確認</li> <li>・職員園内保健研修(園医より)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・布団返却</li> <li>・身長体重グラフ配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・布団返却</li> <li>・歯科健診</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・布団返却</li> <li>・全園児内科健診</li> </ul>
保護者・園児への働きかけ	0歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活リズムの基本を再確認し、予防に努める(手洗い、うがい、消毒、休息)</li> <li>・探索活動も楽しむようになる為、安全に注意する</li> <li>・薄着を心掛けるよう伝えていく</li> <li>・室内の温度をチェックし、健康に過ごせるように配慮する</li> </ul>			
	1～2歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動量の増加と身体成長のバランスが崩れやすい為事故や怪我に注意する</li> <li>・手洗いの介助をしながら、正しく手洗いが行えるように配慮する</li> <li>・戸外で十分に身体を動かす</li> <li>・薄着を心掛け、気温の高い時は上着を脱ぐことを保護者に知らせる</li> </ul>			
	3～5歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活リズムの大切さを知る</li> <li>・気温の変化による衣服の調節の仕方を知る</li> <li>・衛生習慣を身につけ、感染症の予防に気を付けることが出来る</li> <li>・手洗いの意味を知り、一人でも正しく手洗いが行えるよう配慮する</li> </ul>			
留意点 健康面 安全衛生		<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の疲れに注意し、体重減少、食欲不振、その他の健康状態に留意する</li> <li>・内科健診の結果を記録し、必要に応じて配慮する</li> <li>・感染症の流行期には、その予防について知らせる</li> <li>・室温、湿度の変化と換気に配慮する(加湿器の稼働)</li> <li>・衛生習慣を身につけ、感染防止ができるよう教える</li> <li>・虫歯の予防について</li> <li>・歯科健診の結果を記録し、保護者へ伝達する</li> </ul>			

## 令和6年度 年間保健計画

(子どもたちが健康に発達し、保育園生活を快適に送る事ができる)

		1月	2月	3月
目 標		①年末年始休みの後の生活リズムを整える。 ②寒さに負けず、元気に遊ぶ ③不安なく進級の準備が出来る		
保健行事		<ul style="list-style-type: none"> <li>・布団返却</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・布団返却</li> <li>・新入園児内定者説明会</li> <li>・内科健診(内定者)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・布団返却</li> <li>・身長体重グラフ配布</li> </ul>
保護者・園児への働きかけ	0歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活リズムの基本を再確認し、予防に努める（手洗い、うがい、消毒、休息）</li> <li>・乾燥による皮膚の痒み、症状の出現に留意する</li> <li>・安定して過ごせるように体調や情緒面に気を配る</li> <li>・衛生的な環境をつくる。</li> </ul>		
	1～2歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸外で十分に身体を動かして遊び、自律神経を鍛え、丈夫な体を作る</li> <li>・外気温、室温や湿度に留意して、衣類の調整をして、健康に過ごせるような配慮をする</li> <li>・自分でやろうとする気持ちを大事にし、危険のないように援助する</li> </ul>		
	3～5歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸外で十分に身体を動かして遊び体温調節力を高め、気管等を強くする</li> <li>・しもやけ、ひびわれが出来た子への配慮</li> <li>・自分の体に興味を持ち、大切にすることができる</li> <li>・進級や小学校入学に向け予防接種等、個々の問題を再度チェックする</li> </ul>		
留意点 健康面 安全衛生		<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症の予防に配慮する</li> <li>・気温、室温、運動量に応じて、園児が自分で衣服の調節が出来るよう指導する</li> <li>・肌荒れ、あかぎれ、しもやけ等の予防</li> <li>・就学前に向けて、生活リズムが崩れている子どもには適切な指導を行い保護者には園だよりで知らせる</li> <li>・各書類の整理を行う</li> <li>・年間の身長、体重の増加、病欠や事故状況の把握をする</li> <li>・内科健診を年2回実施できているか確認する</li> </ul>		

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
日	曜日	行事等	会議	日	曜日	行事等	会議	日	曜日	行事等	会議
1	月	辞令交付 保育説明会(0・1歳)	保育説明会反省会	水				月	木	身体測定の日 さくらんぼ④	七ヶ準備
2	火	身体測定の日 陶芸(5歳)	各クラス会議の週	木				火	金	表の家④	避難訓練・引き取り訓練(171), 身測の日
3	水		リーダー	金	憲法記念日	月	身体測定の日 食・放射能	水	土		陶芸(5歳)
4	木			土	みどりの日	火	陶芸(5歳)	木	日		事務 季節 研修会議
5	金			日	こどもの日 検便採取	水	さくらんぼ②	金	月	七ヶ	事務
6	土			月	振替休日	木	避難訓練	土	火	陶芸(5歳)	リーダー
7	日	検便採取		火	身体測定の日 陶芸(5歳)	金		日	水		保健
8	月	食・放射能		水	英語(2~5歳)	土		月	木	表の家④	事務 シフト
9	火		事務 研修会議	木		日	検便採取	火	金	巡回相談	巡回カンファ
10	水	英語(2~5歳)	検便メ切 シフト	金	避難訓練	月	おやつをたべよう①	水	土	英語 おやつを食べよう②	乳児 検便メ切
11	木		給食	土	保育連絡会	火		木	日	山の日	検便採取
12	金		園長会	日		水	英語	金	月	振替休日	
13	土			月	表の家①	木		土	火		乳児
14	日			火	巡回相談	金	家族の日	日	水		給食 検便メ切
15	月		園芸	水	クッキー作り(幼児)	土		月	木	海の日	太鼓(5歳)
16	火		幼児	木	太鼓(5歳)	日		火	金	ひよこ学習②	スイカ割り打合せ(幼児)
17	水			金		月	表の家②	水	土		反省会
18	木	太鼓(5歳)	リーダー	土		火	老人ホーム	木	日		太鼓(5歳) 表の家合同研修
19	金		人事考課会議	日		水		金	月		各クラス会議の週
20	土			月	老人ホーム	木	誕生日会 太鼓(5歳)	土	火		季節
21	日			火	誕生日会	金	ひよこ学習①	日	水		染物体験
22	月		生き物	水		土		月	木	食・放射能	ステップ
23	火	避難訓練	季節	木	音楽の日	日		火	金	誕生日会	スイカ割り打合せ
24	水	誕生日会	乳児 職会	金	若葉の日(3, 4, 5歳遠足)	月	新人面談	水	土		反省会 職会
25	木	音楽の日	ステップ 常任会議	土		火	お皿の置き方・箸の持ち方(幼児)	木	日	音楽の日	常任
26	金	布団返却		日		水	内検(全園児)	金	月		ステップ
27	土			月	ランチ会週間(6月末)	木	音楽の日	土	火		
28	日			火	さくらんぼ⑤	金	人事考課会議	日	水		職会
29	月	昭和の日		水		土	職会(31若の時 24に変更)	月	木		夏祭り打合せ
30	火		個別メ切	木		日		火	金	布団返却 夏祭り(幼児)	個別メ切
31	水			金	若葉の日予備日 布団返却	土		水	土		個別メ切

令和6年度

年間行事計画書 (職員用)

		10月		11月		12月		1月		2月		3月				
日	曜日	行事等	会議	曜日	行事等	会議	曜日	行事等	会議	曜日	行事等	会議	曜日	行事等	会議	日
1	火	共同募金, 陶芸(5歳), 身体測定	事務 研修会議	金			日			水	年始休み		土			1
2	水		リーダー	土			月	身体測定	事務 リーダー	木	年始休み		日			2
3	木	避難訓練	生き物	日	文化の日		火	陶芸(5歳)	研修会議	金	年始休み		月	身体測定	シフト 季節	3
4	金	ひよこ学習④	園芸 季節	月	振替休日		水	だしの食育(5歳)	季節	土			火	陶芸(4歳)	事務 研修会議	4
5	土			火	陶芸(5歳) 身体測定	事務 研修会議 生き物	木	避難訓練 おやつを食べよう⑤	園芸	日		検便採取	水		生き物	5
6	日		検便採取	水	ひよこ学習⑤	給食	金		理事会・評議委員会(1日)	月	仕事初め 食・放射能 身体測定	リーダー	木	すいとん作り(4歳)	リーダー	6
7	月		給食	木	ブレイデーリハ② (太鼓含む)	リハ反省会	土			火	陶芸(5歳)	事務 季節	金	避難訓練	園芸	7
8	火	さくらんぼ⑦		金		園長会	日		検便採取	水	おやつを食べよう⑥		土			8
9	水		検便 乳児	土	ブレイデー(太鼓)		月		給食	木	避難訓練	生き物 研修会議	日		検便採取	9
10	木	おやつを食べよう④ サンマの食育(5歳)	ブレイデー実行委員会	日		検便採取	火	巡回相談 冬季賞与	巡回カンファ	金			月			10
11	金		園長会	月		ブレイデー反省会	水	英語	幼児 検便	土			火	建国記念日		11
12	土			火	広域避難訓練(新園)	リーダー	木	ひよこ学習⑥	高尾山打合せ	日			水		検便	12
13	日			水	広域避難訓練(現園)	幼児 検便	金	高尾山	各クラス会議の週(園長会)	月	成人の日		木	太鼓(4歳)	各クラス会議の週	13
14	月	スポーツの日		木		季節(ブレイデー打合せ)	土			火		園芸	金		園長会	14
15	火	老人ホーム	シフト	金		各クラス会議の週	日			水	英語	給食 検便	土			15
16	水		全国大会	土	ブレイデー予備日		月	大掃除の週	高尾山反省会	木	太鼓(4歳)	乳児	日			16
17	木			日			火		内科検診打合せ	金		各クラス会議の週	月	内定者説明打合せ		17
18	金		各クラス会議の週	月	食・放射能	ブレイデー反省会	水	内検(全園児)	リーダー	土			火	巡回相談	巡回カンファ	18
19	土			火	高尾山下見	歯科検診打合せ	木	音楽の日 誕生日会	高尾山打合せ	日			水	入園内定者検診・面談 英語		19
20	日			水	みそ作り(4歳)	園芸 全国保育士会	金	高尾山予備日	乳児・シフト	月	老人ホーム	リーダー	木	誕生日会	リーダー	20
21	月		ステップ	木	歯科検診(全園児)	シフト	土			火		ステップ	金		給食	21
22	火		図上訓練	金	誕生日会		日			水		防犯研修	土			22
23	水	英語	リーダー	土	勤労感謝の日		月	老人ホーム	高尾山反省会	木	音楽の日 誕生日会	常任会議	日	天皇誕生日		23
24	木	音楽の日 誕生日会	常任会議	日			火		生き物	金			月	振替休日		24
25	金	布団返却	職会	月		ステップ	水		ステップ 職会	土			火	老人ホーム	ステップ	25
26	土			火			木		常任委員会	日			水		乳児 職会	26
27	日			水	英語	職会	金	布団返却	個別	月			木	音楽の日	常任会議	27
28	月			木	音楽の日	常任会議	土			火			金	布団返却	個別	28
29	火			金	布団返却	個別	日	年末休み		水			土			29
30	水			土			月	年末休み		木			日			30
31	木	ブレイデーリハ① (太鼓含む)	リハ反省 個別	火	年末休み		水			金	布団返却	個別	月		職会・新年度準備 個別	31

フィルター掃除：第2, 4土曜日 職員会議：その月の日程による 布団返却：毎月最終金曜日 日程未定：お楽しみ保育 移動動物園 たき火 妻の家にGに分かれて行く さくらんぼ保見学

34

別表2-2

令和6年度 施設内研修 年間計画

月	研修	講師	対象者	時間
4月	保健研修(嘔吐・下痢)	保健係	全保育士	14:00～15:00
5月	テルウェル研修	テルウェル東日本職員	全保育士	14:00～15:00
	保健研修(食物アレルギー)	保健係	全保育士	14:00～15:00
6月	応急救護研修	保健係、防災係	全職員	14:00～15:00
7月	保健研修(熱性けいれん、救急車)	保健係	全保育士	14:00～15:00
	麦の家合同研修	宿泊研修参加職員	宿泊研修参加職員	2日
9月	防災教育	防災係	全職員(主に新人)	14:00～15:00
	保健研修(よくみられる子どもの病気について)	園医	全保育士	18:00～19:00
1月	防犯研修	小金井警察署職員	全職員	14:00～15:00
3月	消防訓練研修(消火器など)	小金井消防署職員	全職員	14:00～15:00

<b>事業の目的</b>		保育所保育指針に基づき、心身ともに健やかに育成されるよう養護と教育が一体となった保育を行う。			<b>保育理念(事業運営方針)</b>		1. 本物を五感で感じ、本物を選びとる力をつける保育 2. 芸術や音楽、伝統文化を大切に保育 3. 個性豊かな人間を育む保育							
<b>保育方針</b>		1. 一人ひとりを尊重し、発達に合わせ、心をこめて保育する 2. 保護者や園児から信頼される保育園を目指す 3. 職員の連携を大切に、専門職として仕事を全うする 4. 子育て家庭の支援や卒園生・地域の方々と交流を積極的に深める			<b>園の保育目標</b>		・遊びを充実させた保育 ・思いやりを育てる保育 ・「やったよ、できたよ」という自信を育む保育 ・健康な体をつくる保育							
<b>子どもの保育目標</b>		乳児	身体を動かしいっぱい遊べるクラス。生活リズムを整え、安心して過ごすクラス。個々の生理的欲求を満たし、情緒の安定を図るクラス。	3歳児	全身を使って遊び運動能力を伸ばすクラス。一人ひとりが生き生きと過ごせるクラス。基本的な生活習慣が身に付き、身の回りのことを進んでしようとするクラス。友達同士協力して何か取り組めるクラス	<b>保育時間など</b>	3号認定／基本保育時間 標準認定7:00～18:00 短時間認定8:30～16:30 延長保育時間 標準認定18:00～19:00 短時間認定 7:00～8:30 16:30～19:00							
		1歳児	友達と関わる事を楽しむクラス。身の回りの事に興味を持って取り組むクラス。存分に体を動かして遊ぶクラス。	4歳児										
		2歳児	友達の気持ちに気付けるクラス。身の回りのことが自分でできる喜びや自信を持つクラス。	5歳児										
<b>■保育所保育に関する基本原則／役割目標</b>		<b>■保育の方法／環境</b>		<b>■保育所の社会的責任</b>		<b>■養護に関する基本的事項</b>		<b>■保育の計画と評価</b>		<b>■幼児教育を行う施設として共有すべき事項</b>		<b>◎小学校との連携(接続)</b>		
児童福祉法に基づき、保育を必要とする子どもの保育を行い、健全な心身の発達を図る。保育に関する専門性を有する職員が、養護及び保育を一体的に行う。保護者支援及び地域の子育て支援等を行う。		健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を整え、一人一人の発達過程に応じ、乳幼児期にふさわしい体験が得られるように、生活や遊びを通して総合的に保育する。保護者を理解し適切に援助する。		人権に配慮する。子どもの人格を尊重し保育を行う。地域社会との交流や連携を図り、保育の内容を適切に説明する。個人情報等を適切に取り扱う。保護者の苦情解決を図るよう努める。		養護とは、子どもの生命の保持及び情緒の安定を図るために保育士等が行う援助や関わり。保育所における保育は、養護及び教育を一体的に行う。養護に関するねらい及び内容を踏まえた保育を展開する。		保育の目標を達成するため、方針や目標に基づき、子どもの発達過程を踏まえた保育の内容が組織的・計画的に構成され総合的に展開されるよう、全体的な計画を作成する。これに基づき指導計画、保健計画、食育計画等を作成する。保育士等の自己評価、保育所の自己評価を行い、保育内容の改善を図る。		生涯にわたる生きる力の基礎を培うため、保育の目標を踏まえ、資質・能力の3本の柱を一体的に育むよう努める。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、ねらい及び内容に基づく保育活動全体を通して資質・能力が育まれている子どもの小学校就学時の具体的な姿であり、保育士が指導を行う際に考慮する。		保育所保育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通じて、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培う。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有し、保育所保育と小学校教育との円滑な接続に努める。子どもに関する情報共有に関して、就学に際し、市町村の支援の下に、子どもの育ちを支えるための資料が保育所から小学校へ送付されるようにする。 ●小金井市立東小学校・たまむし学童見学		
<b>■保育の目標</b>		ア 子どもが現在を最も良く生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う。 (ア) 生命の保持及び情緒の安定を図る (イ) 心身の健康の基礎を培う (ウ) 愛情と信頼感、人権を大切にする心を育てるとともに、自主、自立及び協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培う (エ) 生命、自然及び社会への興味や関心を育て、豊かな心情や思考力の芽生えを培う (オ) 言葉への興味や関心を育て、言葉の豊かさを養う (カ) 豊かな感性や表現力を育み、創造性の芽生えを培う										イ 入所する子どもの保護者に対し、その意向を受け止め、子どもと保護者の安定した関係に配慮し、保育所の特性や保育士等の専門性を生かして、その援助に当たる。		
<b>■養護</b>		年齢	乳児	1歳児(満1歳より)	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	<b>◎小学校以上との連携に鑑みて</b> 育みたい資質・能力は小学校以上の個別の「知識や技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」につながるものである。また、この資質・能力を実現するためにアクティブ・ラーニングを用いる。					
		生命の保持	●生理的欲求の充実を図る	●生活リズムの形成を促す	●適度な運動と休息の充足	●健康的な生活習慣の形成	●運動と休息のバランスと調和を図る	●健康・安全への意識の向上						
		情緒の安定	●応答的な触れ合い ●情緒的な絆の形成	●温かなやり取りによる心の安定	●自我の育ちへの受容と共感	●主体性の育成	●自己肯定感の確立と他者の受容	●心身の調和と安定により自信を持つ						
<b>◎ねらい及び内容並びに配慮事項(養護と教育は一体となって展開されることに留意)</b>														
<b>◎教育</b>		(乳児) 3つの視点	乳児	(満1-3歳未満児) 5領域	1歳児(満1歳より)	2歳児	(3-5歳児) 5領域	3歳児	4歳児	5歳児	<b>■幼児期の終わりまでに育ってほしい姿10項目</b>		<b>■教育・保育において育みたい資質・能力の3本の柱</b>	
		健やかに伸び伸びと育つ	●身体機能の発達 ●食事睡眠等の生活のリズム感覚の芽生え	健康	●歩行の確立による行動範囲の拡大 ●排泄の確立 ●運動、指先の機能の発達	健康	●意欲的な活動 ●基本的な生活習慣の確立	●健康への関心 ●体全体の協応運動	●健康増進とさらなる挑戦への意欲					
		身近な人と気持ちが通じ合う	●特定の大人との深い関わりによる愛着心の形成 ●喃語の育みと応答による言葉の芽生え	人間関係	●周囲の人への興味、関心の広がり ●自己主張の表出 ●友達との関わりが増大	人間関係	●道徳性の芽生えと並行遊びの充実	●仲間との深いつながり	●社会性の確立と自立心の育成					
		身近なものとの関わり感性が育つ	●身近なものとの関わり感性が育つ ●身体の諸感覚認識による表現	環境	●好奇心を高める ●自然事象への積極的な関わり	環境	●身近な環境への積極的な関わり	●社会事象への関心の高まり	●社会、自然事象へのさらなる関心と生活への取り入れ					
		健康支援／状態把握・増進・疾病対応	●言葉の楽しさ、楽しさへの気付き ●生活の中での必要な言葉の理解と使用	言葉	●言葉の獲得 ●話しはじめ ●言葉のやり取りの楽しさ	言葉	●言葉の美しさ、楽しさへの気付き ●生活の中での必要な言葉の理解と使用	●伝える力、聞く力の獲得	●文字や数字の獲得による遊びの発展					
健康支援／状態把握・増進・疾病対応	●健康及び発育発達状態の定期的、継続的な把握 ●年2回(0歳児は4回)の園医による内科検診 ●歯科検診 ●登園時及び保育中の状態観察、また異常が認められたときの適切な対応 ●家庭環境に伴う心身状態、養育状態、親子関係などの把握 ●年間保健指導計画(別紙参照) ●職員年1回健康診断及び毎月の検便	食育の推進(食育計画別紙)	●栄養バランスを考えた自園給食の業務委託 ●行事食の提供 ●食育活動の実施 ●野菜作りの実施 ●クッキングの実施	環境及び衛生管理並びに安全管理	●施設内外の設備、用具等の清掃及び消毒等、安全管理及び自主点検 ●子ども及び職員の清潔保持 ●感染予防対策指針の作成と実施及び保護者との情報共有	災害への備え(避難計画等別紙)	●避難訓練(火災、地震)の実施(毎月) ●災害伝言ダイヤル117を使う引き取り訓練 ●救命・応急手当訓練 (AED含む) ●消火訓練 ●被災時における対応と備蓄 ●消防設備点検 ●非常通報装置の点検・講習 ●警察官を招いての防犯訓練	子育て支援(子育て支援計画別紙)	●教育及び児童福祉としての保育並びに子育て支援の有機的な連携が図られ、子どもの成長に気付き、子育ての喜びが感じられるよう子育て支援に努める。 ●保育参加・個人面談 ●保育連絡会 ●ひよこ学習 ●おやつを食べよう ●定期利用保育 ●一時預かり保育	職員の資質向上(研修計画別紙)	質の高い保育を展開するため、一人一人の職員についての資質向上及び職員全体の専門性の向上を図るよう努める。保育所職員に求められる専門性を理解し、保育の質の向上に向けた組織的な取り組みを行う。職場研修、外部研修など体系的な研修計画を作成し、結果を活用する。(別紙参照)			
<b>情報公開等</b>		●事業計画 ●事業報告 ●第三者評価結果報告 ●決算報告 ●ホームページ ●運営規定 ●法人現況報告 ●役員報酬 ●監事監査報告 ●予算書				<b>特色ある教育と保育</b>				●戸外保育を毎日実施 ●丈夫な身体作り ●薄着、裸足保育の実施 ●音楽療法(2～5歳児) ●和太鼓 ●臨床心理、言語療育専門の先生による巡回相談 ●わらべ歌				
<b>地域の実態に対応した保育事業と行事への参加</b>		●こむぎキッズ(育児体験)				<b>研修計画</b>				●法人研修の継続 ●保育指針対応の園外・園内研修の継続 ●園内研修(保育・保健・メンタルヘルス・発達他)、及び新人研修 ●園医を招いての園内保健研修 ●他園視察見学、実習 ●外部研修への計画的な参加(私保連研修大会他) ●処遇改善				
<b>自己評価等</b>		●法人施設による適切な施設運営管理の評価 ●保育所の評価(全体の反省による全体計画等の反映) ●保育士等の評価(自己評価と子どもの評価の確立) ●自己チェックリストの実施と危機管理マニュアルの作成、習得												

こむぎ保育所園 令和6年度 年間指導計画 0歳児 たんぽぽ組

<p><b>年間目標</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●落ち着いた雰囲気の中で欲求を満たし、情緒の安定を図りながら、一人一人の豊かな個性を育み、信頼関係、愛着関係を育てる。</li> <li>●個人差に留意しながら離乳の完了や歩行、発語への意欲を育む。</li> <li>●保健的で安全な環境の中で伸び伸びと遊び、いろいろな体験を重ねて、感覚の発達を豊かにし、身の回りの物事へ興味、関心がもてるようにする。</li> </ul>	<p><b>健康 安全 災害</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●視診・触診・検温は毎日行い、健康的に過ごすために感染症の早期発見、予防に努める。</li> <li>●施設内の環境整備を行う</li> <li>●危機管理マニュアルの確認</li> <li>●乳幼児突然死症候群の予防。</li> <li>・内科検診(6.10.12.3月)・身体測定(毎月)</li> <li>・避難訓練(毎月)</li> </ul>	<p><b>一年間の保育 に対する自己 評価</b></p>
--------------------	--	--------------------------------	---	--

\*0歳児クラスの教育は、乳児は三つの視点、満1歳からは5領域で捉える。

保育目標		身体を動かしいっぱい遊べるクラス			生活リズムを整え、安心して過ごすクラス			個々の生理的欲求を満たし、情緒の安定を図るクラス	
		1期(4月～5月)	2期(6月～8月)		3期(9月～12月)		4期(1月～3月)		
<b>ねらい (養護・保育)</b>		●一人一人の生活リズムを大切に、保護者と連携しながら新しい環境に慣れるようにする。 ●保育士にあやされたり、守られながら安心感を得ることで、信頼関係を築いていく。	●快適に過ごせるよう、保健衛生面に配慮しながら、一人一人の体調を把握し、沐浴・水遊びを行う。 ●信頼する保育士に欲求を受け止め、満たしてもらいながら情緒の安定を図る。	●氣候に応じた戸外遊びや散歩を多く取り入れ、自然に触れて遊ぶ。 ●一人ひとりの発達にあった全身運動を楽しむ。 ●保育士や他の園児との関わりを喜び、安心できる環境の中で自分の欲求を喃語などで表そうとする。 ●年間成長統計グラフを配布する。(10月)	●冬の健康管理に配慮しながら、外気に触れる機会を多くもち、体を動かす楽しさを感じる。 ●安定した環境の中で好きな遊びを楽しむ。 ●保育士や他の園児と関わる喜びを感じながら、気持ちの表現の仕方を知る。 ●1歳児クラスの生活リズムへと移行できるようにする。 ●年間成長統計グラフを配布する。(3月)				
<b>月齢・年齢</b>		57日～3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～9か月未満	9か月～12か月未満	1歳～1歳3か月未満	1歳3か月～2歳未満		
<b>園児の姿</b>		●目の前のものを追視したり、音のする方を見たりする。 ●睡眠と目覚めを繰り返すが、次第に目覚める時間が長くなる。 ●快と不快を感じ分けの力が芽生え、空腹になったり、おむつが濡れると泣くが、対応してもらおうと気持ちよさそうに泣き止む。 ●手足を生き生きと動かして遊び、顔の向きを自分で変えるようになる。	●昼夜の区別がつくようになり、昼に起きている時間が長くなる。 ●首がすわり、手助けをすすと寝返りができるようになり、やがて自分で寝返りをし始める。 ●腹ばいにするや背筋を伸ばして頭を上げ、少しの間、手で体を支えるようになる。 ●機嫌がよい時は声を出して遊んだり、あやされる声に応じて声を出す。	●離乳食を食べ始める(初期食)。 ●いろいろな味や舌触りに慣れ、もぐもぐして飲み込む(中期食)。 ●人見知りが始まり、後追いが激しくなる。 ●お座りが安定し、座った状態で玩具を持って遊ぶ。 ●自由に寝返りをし、腹這いで前後に進むようになる。 ●声出しが盛んになり、声を出して大人を呼ぶようになる。	●食べることに意欲的になり、こぼしながらも手づかみや指つまみで自分で食べようとする。舌や歯茎を使ってすりつぶして食べる(後期食)。 ●ずり返りを四つ這い等で移動する。 ●つかまり立ちや伝い歩きなど歩行への意欲と活動が活発になる。 ●指差しや喃語で意思を伝えようとする意欲が表れる。	●歯茎や乳歯を使って噛んで食べる(完了食)。 ●伝い歩きから一人歩きができるようになり、行動範囲が広がり、興味の幅も広がる。 ●つまむ・叩く・引っ張るなど、手や指を使って遊ぶ。 ●「ママ」「プー」など意味のある言葉を言うようになる。	●一人歩きが安定し、小走りや歩いたり、段差のあるところを歩いたり、跳び下りるなど、上下の運動に挑戦する。 ●手の細かいコントロールが進み、積み木を積んだり、なぐり描きが点から曲線になる。 ●感情表現が豊かになり、自分の欲求を達そうとする。 ●他の園児へ関心を示し、持っているものを欲しがったり触ろうとする。		
<b>養護</b>	<b>生命の保持</b>	■家庭との連絡を密に取りながら子ども一人ひとりの健康状態を把握する。	■一人ひとりの生活リズムを把握し、安定させていく。	■一人ひとりの発達状態に合わせ、離乳食の開始や内容を検討する。	■睡眠リズムの変化に対応して、活動時間や内容を調整する。	<b>生命の保持</b>	■咀嚼や嚥下機能の発達状態を適切に把握し完了食への移行を進める。		
	<b>情緒の安定</b>	■一人一人の生活に応じて、安心して過ごせるようにする。	■泣き声や語らいに反応してもらい、愛着関係を深めていく。	■特定の大人と愛着関係を築いたうえで好奇心を満たしていく。	■人見知りなどの感情の現れ方を理解・共有し、気持ちが安定するように関わっていく。	<b>情緒の安定</b>	■安心して欲求を表せるようにし、伝えたい気持ちを受け止める。 ■自我の芽生えに対してゆったりと変わり、意欲を育てていく。		
<b>教育</b>	<b>健やかにのびのびと育つ</b>	★安心してできる環境の中で、大人に抱かれ、心地よさを感じる。	★体を動かしたり、動かしてもらうことを喜ぶ。	★安心してゆったりと眠りにつけるようになる。	★安全に配慮してもらいながら身体を十分に動かす楽しさを得る。	<b>教育 (5領域) 健康 人間関係 環境 言葉 表現</b>	★伝い歩きや一人歩きをしながら探索し、自分の好きな遊びを見つけようとする。 ★友達のしていることに興味を持ち、まねして遊ぶなど、関わろうとする意欲が出る。 ★戸外遊びや散歩を通して、身近な自然に興味を持つ。 ★興味をもったものに視線を向けたり、指差しをして言葉と一致させようとする。 ★歌や音楽に興味を持ち、リズムに合わせて体を動かして遊ぶ。		
	<b>身近な人と気持ちが通じ合う</b>	★表情や発声への保育者の応答的な関わりで、喃語を発する。	★優しい語りかけや応答により保育士と安心して関わるようになる。	★触れ合い遊びやわらべ歌遊びなどを通じて、保育士との関係を深める。	★「ちようだい」どうも「バイバイ」など保育士の手ぶりの模倣をする。		★全身を使った動きを楽しみ、自分なりにやってみようとする。 ★実物や絵を見て、対象と一致した言葉が言えるようになる。 ★保育士と絵本や手遊びを楽しみ、模倣を楽しむ。		
	<b>身近なものとの関わり感性が育つ</b>	★ゆったりと動く物を注視する。 ★音のするに顔を向ける。	★音の出る玩具や柔らかい素材の物に興味を持ち、手を伸ばそうとする。	★興味・関心のある玩具で安心して遊ぶことができる。 A	★興味をもったものに視線を向けたり、指差しをして言葉と一致させようとする。		★興味をもったものに視線を向けたり、指差しをして言葉と一致させようとする。	■自分でやりたい気持ちが十分に満たされるような環境を整えることで、満足感が得られるようにする。 ■一人遊びでも他の園児が視界に入らなく、同じ空間で行う。 ■他の園児との関わりにより関心が持てるよう必要な仲立ちをしていく。 ■子どもの指差しには一つ一つ言葉をかけて受け止め、関心が深められるようにする。	
<b>■環境構成 ★援助・配慮</b>		■一人一人の生活リズムに応じて、ゆったりとした温かい雰囲気の中で過ごせるようにする。 ■室温や湿度に配慮して必要な寝具を用意し、落ち着いた環境の中で眠れるようにする。 ★授乳やおむつ交換は優しく声をかけ触れ合うことで、心地よさを感じられるようにする。 ★睡眠中も顔色や呼吸をチェックし、変化を見逃さないようにする。	■寝返りやうつぶせの姿勢の時には顔がふさがれないよう、柔らかい寝具やマットなどを確認する。 ■興味を引く玩具などは注視や体の動きを促すように見せる。 ■常に安全な環境が整っているか確認・改善を行う。 ★手足の動きや体の動き等、必要な補助を行いながら運動機能の発達を促す。	■活動範囲の広がりに伴い、安全面や衛生面に留意し、活動しやすい環境を整える。 ■じっくり楽しめる玩具や環境を設定し、一人遊びが十分にできるようにする。 ★手遊びや絵本などゆたり遊べる環境の中で保育士と楽しさを共有し、喜びを感じられるようにする。 ★心地よさや楽しさが感じられるように、保育士は声の出し方や動き方を考慮する。	■興味や発達に合わせて子どもの好奇心や探索行動が満たされるように環境を整える。 ■じっくり楽しめる玩具や環境を設定し、一人遊びが十分にできるようにする。 ★手遊びや絵本などゆたり遊べる環境の中で保育士と楽しさを共有し、喜びを感じられるようにする。 ★心地よさや楽しさが感じられるように、保育士は声の出し方や動き方を考慮する。	■伝い歩きや一人歩き等歩くことが楽しくなり、行動範囲が広がるので、保育士だけでなく他の場所でも伸び伸びと遊べるようにする。 ■保育士がスキンシップを取りながら揺らしたり、姿勢を変化させる。 ■運動遊びは子どもの機嫌や体調のよい時に行う。 ★子どもの指差しには一つ一つ言葉をかけて受け止め、関心が深められるようにする。			
<b>長時間・土曜日保育の 配慮</b>		家庭と連絡を密に取り、体調に配慮する。		個々の様子に配慮し必要であれば夕方も仮眠をとる。		個々の気持ちに配慮し安心してゆったりと過ごすようにする。		体調の変化に気を付け健康に過ごせるよう配慮する。	
<b>子育ての支援(保護者支援)</b>		●子どもの様子を丁寧に伝えながら、保護者との信頼関係を築き、共通の思いで子育てを楽しめるようにする。	●健康状態とともに感染症の流行など周囲の状況を伝え、感染症の早期発見や拡大防止について理解・対応ができるようにする。	●離乳食の進み具合を聞き取り、園での食事状態を伝えながら、同じ援助ができるようにする。	●園の安全対策を伝え、家庭での環境の見直し材料となるようにする。	●完了食への移行にあたっては、食事の形態やアレルギー、牛乳の開始など保護者と密に連絡を取り進めていく。		●自我の芽生えは成長の大切な一歩というのを伝え、悩みをしっかりと受け止めていく。自分でできた満足感が意欲につながることを伝え、さりげなく援助するなど関わり方を伝える。	
<b>園行事 及び園事業</b>		1期(4月～5月)		2期(6月～8月)		3期(9月～12月)		4期(1月～3月)	
		誕生会(毎月)／保育連絡会		誕生会(毎月)／七夕／スイカ割り／夏祭り		誕生会(毎月)／プレイデー		誕生会(毎月)／正月／進級説明会	
<b>期の反省</b>									

年間目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>●保育教諭(保育士)等に援助されながら、基本的な生活習慣の基礎が身に付く。</li> <li>●安心できる保育教諭(保育士)等との関係を築きながら、安全な環境の下で生活や遊びに取り組む。</li> <li>●探索活動を通して、十分に聞く、見る、触れるなどの経験を、人や周りのものへの関心をもつ。</li> <li>●適切な環境により、運動、言葉を獲得する。</li> </ul>	健康 安全 災害	<ul style="list-style-type: none"> <li>●気温、湿度、採光に留意する。</li> <li>●空気の状況を確認し安全を確保する。</li> <li>●防災防犯訓練への参加、意識向上に取り組む。</li> <li>●階段は四つ這いで上り下りすることを身に付ける。</li> <li>・身体測定・避難訓練(毎月)</li> <li>・内科検診(6月、12月) 歯科検診(11月)</li> </ul>	一年間の 保育に 対する 自己評価
保育目標	友達と関わることを楽しむクラス	身の回りのことに興味を持って取り組むクラス		存分に体を動かして遊ぶクラス	
期	1期(4月～5月)	2期(6月～8月)	3期(9月～12月)	4期(1月～3月)	
園児の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新しい環境に戸惑い不安いっぱい泣いたりしている。</li> <li>●保育士に少しずつ慣れ、安心して触れ合い遊びや好きな遊びをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生活リズムに慣れてきて、一日の保育の流れに沿って保育士とともに生活することができる。</li> <li>●歩くことに慣れ活動範囲が広がる。自然物や身近なもの、遊具に興味をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保育士と親しみ関わりながら遊んでいる。</li> <li>●周囲の環境に興味をもち、言葉や体を使って伝えようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●身の回りのことを、自分でしようとする。</li> <li>●友達と一緒に遊具を使って遊びを楽しんでいる。</li> </ul>	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新しい環境や生活のリズムに慣れ、保育士との関係ができ、安心して過ごすことができる。</li> <li>●戸外で自由に体を動かすことを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一人一人と十分に関わりながら、気持ちを受け入れ信頼関係を築いていく。</li> <li>●遊びを通して夏の雰囲気を感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●身の回りのことに興味をもち、自分でやろうとする。</li> <li>●いろいろな遊びや生活の中で、十分に体を動かすことを楽しむ。</li> <li>●紅葉、落ち葉など秋の自然に触れて遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●おおまかな一日の流れがわかり、簡単な身の回りのことができるようになる。</li> <li>●保育士や友達との関わりの中で、言葉のやり取りを楽しむ。</li> <li>●進級に向けて期待や喜びをもって楽しく過ごす。</li> </ul>	
養護	生命の保持	<ul style="list-style-type: none"> <li>■家庭との連携をとりながら、一人ひとりの健康状態や発育・発達状態を把握し、無理なく生活を通わせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■戸外遊びや水遊び等で体調管理がしっかり行われ、安全な環境で十分に活動できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■気温の変化に留意し、室内の環境や衣服の調整を通して快適に過ごす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■身の回りごとを、自分からしようとする気持ちを受け止め、満足感が得られるようにする。</li> </ul>
	情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> <li>■保護者との連絡を密にし、信頼関係を築くことにより子どもの心の安定が図れるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■保育士に気持ちを受け止められ、満足感が得られるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■保育士との十分なスキンシップにより心の安定を図れるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■周囲の人への関心を高め、関わりの中から自己肯定感や信頼感が育まれるようにする。</li> </ul>
教育	健康	★新しい環境に慣れ、好きな遊びを十分に楽しむ。	★全身を使った動きを楽しみ、自分なりにやってみようとする。 ★トイレでの排泄に徐々に慣れる。	★十分に体を動かし、「やってみよう」という気持ちをもつ。	★身の回りのことを、自分からしようとする。
	人間関係	★保育士と関わり、興味や親しみをもつ。	★保育士や友達と同じ遊びを楽しみ、親しみを感じて関わる。	★友達の存在を意識し、関わろうとする。	★友達の名前を親しみをこめて呼び、仲間意識をもつ。 ★物事の善悪に関心をもつ。
	環境	★戸外遊びを通して、土、砂、身近な草花、生き物に触れ、興味を持つ。	★水、砂、泥などに触れて気持ち良さや開放感を味わう。	★散歩や戸外遊びで探索したり、落ち葉や木の実拾いなどをしたりして秋の自然の様子を知る。 ★生き物に触れ、慈しむ。	★友達の物、自分の物の区別がつくようになり、自分の持ち物を大切に。 ★雪・氷などに触れ、冬の自然に興味をもつ。
	言葉	★絵本をめくったり、指差ししたりして意欲的に楽しむ。 ★保育士の発音を模倣しようしたり、片言や身振りで自分の思いを伝えようとする。	★季節の歌や手遊びを楽しむ中で様々な言葉に触れる。 ★保育士や友達と応答的な言葉のやり取りを楽しむ。	★気に入ったフレーズやリズムのある言葉を楽しむ。 ★身近なものに好奇心をもち、体の部位の名称や色の名前などがわかるようになる。	★遊びの中で言葉を使うことを楽しむ。 ★二語文が増え、保育士や友達との会話が弾むようになる。
	表現	★保育士と歌を歌ったり、手遊びやリズム遊びをししたりして楽しむ。	★知っている歌を保育士や友達と喜んで歌う。	★保育士と共に絵具や、クレヨンなどを使い、描画を楽しむ。	★冬にまつわる歌を身振りを交えて楽しむ。 ★イメージを膨らませて様々な素材や玩具・遊具を実際に見立てる。
■環境構成 ★援助		<ul style="list-style-type: none"> <li>■安全点検や衛生管理チェックを通じて保育室や園庭、公園の安全を確認し、安心して遊べるようにする。</li> <li>■子どもが興味をもてるよう、発達に合った玩具を用意する。</li> <li>★一人一人の発達や生活リズムを把握し、無理なく新しい環境に慣れていけるようにする。</li> <li>★応答的な関わりを通して信頼関係を築いていく。</li> <li>★子どもの気持ちを受け止めて気持ちの安定を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■水遊び等が十分に楽しめるように、水温や薬剤濃度等を確認し、安全な環境を整える。</li> <li>■様々な活動を通して興味をもてるように遊具の配置を考慮する。</li> <li>★水分補給や休息を時々状況を見極めて、しっかりと取るようにする。</li> <li>★保育士が仲立ちとなり、友達同士の関わりがスムーズにできるように声掛けをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■身の回りのことと遊具などに興味をもてるように配置する。</li> <li>■秋の自然物を使った遊びや製作などを楽しめるよう、素材を準備する。</li> <li>★子どもの気持ちを受け止め、小さな成功体験をたくさんできるよう援助する。</li> <li>★自分でしようとする気持ちを大切に、自信や達成感をもたせるような言葉掛けなどをする。</li> <li>★活動に乗り気でない子どもの気持ちにも寄り添い別の機会を設けるなどの配慮する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■自分から関わるができるような場所や関心もてるような遊具類を準備し配置する。</li> <li>■健康に留意した気温や湿度を保つようにする。</li> <li>★子ども同士が関わり合えるよう言葉掛けをし交流を促す。</li> <li>★子どもの思いを受け止め、代弁したり交流を促す。</li> <li>★できたことを一緒に喜び、自信や意欲につなげていく。</li> </ul>
長時間・土曜日保育の配慮		一人ひとりの情緒の安定を図る。	夕方休息を取れるスペースを作り体調に配慮する。	ゆったりと安心して過ごせるように配慮する。	体調の変化に気を付け健康に過ごせるようにする。
子育ての支援 (保護者支援)		<ul style="list-style-type: none"> <li>●連絡帳や送迎時の対話で毎日の様子を伝え、不安や疑問が解消できるよう掛ける。</li> <li>●保護者の不安な気持ちを受け止め、丁寧に関わるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●気温や湿度など、体に影響することがらを分かりやすく伝える。</li> <li>●感染症情報など分かりやすく伝え、子どもの様子についてしっかりと把握していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プレイデーやもみの木会などの行事を通じて、園での子どもの様子を見てもらい、成長を実感し、子育ての意欲が高まるようにする。</li> <li>●年間成長統計グラフを配布する。(10月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一年間を振り返り、保護者とともに喜びを分かち合う。</li> <li>●進級の話を通じて子どもの育ちについて今後の見通しを伝える。</li> <li>●年間成長統計グラフを配布する。(3月)</li> </ul>
園行事 及び園事業		誕生会(毎月)／保育連絡会／ヤングコーンの皮むき体験	誕生会(毎月)／七夕／スイカ割り／保育参加・個人面談／夏祭り	誕生会(毎月)／敬老の日の会／プレイデー	誕生会(毎月)／移動動物園／ひな祭り／クッキー作り／進級説明会
期の反省					

年間目標		健康 安全 災害		一年間の 保育の反 省		
●保育士等との安定した関わりの中で身の回りのことを行い、自分でできた喜びを感じる。 ●友達と一緒に行動したり同じ遊びを楽しんだりすることができる。 ●自分から体を動かすことを楽しむ。 ●好き嫌いをなくし、楽しく食べることができるようになる。 ●生活の中で身の回りの物の名前や簡単な数、形、色などが分かり、言葉を使って伝えたり、言葉のやり取りを楽しんだりする。		●地震や火事などを想定して避難訓練などに対応していく。 ●基本的な生活習慣を身に付ける。 ●階段は手摺をしっかりとって上り下りすることを身に付ける。 ・身体測定(毎月)・避難訓練(毎月) ・内科検診(6月、12月) 歯科検診(11月)				
保育目標	友達の気持ちに気付けるクラス		身の回りのことが自分でできる喜びや自信を持つ			
期	1期(4月～5月)		2期(6月～8月)		3期(9月～12月)	
園児の姿	●新しい環境に戸惑ったり泣いたりする子もいるが、保育士等との信頼関係ができると安心して生活ができるようになる。 ●進級児は新入児にも関わりを持つ姿がある。 ●自己主張やこだわりがみられ、かんしゃくを起こしたりする。 ●なんでも自分でしようとするが、甘えの欲求も強い。 ●楽しい雰囲気の中で友達や保育士等と一緒に喜んで食べる。 ●音楽を流すと、曲に合わせて楽しく踊ったりする。 ●完食することを喜ぶ。	●体の動きが安定し、探索し、活発に動きまわる。 ●行動範囲が広がり、いろいろな大型遊具で遊ぶことができる。 ●身近な自然物への関心が増し、砂や水で喜んで遊ぶ。 ●友達と関わって遊ぼうとするが、玩具を取り合ったり、座る位置にこだわったりしてケンカがみられる。 ●自己主張を言葉で伝える姿がある。 ●身の回りのことが、ある程度自分でできるようになる。	●動きが一段と活発になり、走ったり、跳んだりする。 ●友達との関わりが楽しくなり、一緒に過ごすことができる。 ●言葉数が増し、おしゃべりが盛んになる。 ●保育士等の見守る中で異年齢児と楽しく散歩に出掛ける姿がある。 ●絵本や紙芝居を読んでもらい、簡単な内容を理解し楽しむ。 ●異年齢児と関わり、模倣して遊ぶ。 ●トイレに行きたくなったことを自ら伝える事ができる。	●身体の機能が発達し、力強く走ったり、運動遊具を使った遊びが仲間と楽しめたりする。 ●生活に必要な言葉が分かり、自分の欲求や意思を言葉で伝えることができる。 ●手先が器用になり、クレヨンやのりの扱いが上手になる。 ●基本的な生活習慣がほぼ完成する。 ●見立て遊びを楽しむことができる。 ●完食することを喜び、こぼさないように食べる。 ●布パンツで過ごし、自ら進んでトイレに行くことができる。		
ねらい	●新しい環境や保育士、友達に親しみをもち、落ち着いた生活を送る。 ●自分のクラスや持ち物の置き場がわかる。 ●一人ひとりが好きな遊びや遊具をみつけて伸び伸び楽しんで遊ぶ。 ●身の回りの様々な事象に興味や関心をもつ。	●夏の自然のなかで存分に体を動かして遊ぶ。 ●保育士等の仲立ちで、友達と関わりながら、楽しく遊ぶ。 ●簡単なきまりや約束を守る。 ●生活や遊びのなかで保育士等や友達との対話を楽しみながら少しずつ言葉が増えいく。 ●正しいスプーンの持ち方ができるようになる。	●自然に親しみ、草花の色や形に興味を示す。 ●生活や遊びの中で保育士等が仲立ちとなり、友達とのやり取りを楽しむ。 ●探索の欲求を満足させながら、表現活動を楽しむことができる。 ●基本的な生活習慣を身に付ける。 ●簡単なきまりや約束を理解することができる。	●色々な運動遊びを楽しむ。 ●自然物を見たり触ったり感じたりする。 ●生活や遊びのなかで表現する喜びを味わわせる。 ●基本的な生活習慣の自立を図る。 ●順番や交替が分かり、友達と仲よく遊ぶ。 ●異年齢児の中で慕うことやいたわる気持ちを育てる。 ●色や形、数字など物とのマッチングがある程度できる。		
養護	生命の保持	■食事、排泄、午睡などが安定してできるように、一人ひとりに応じて適切に対応していく。 ■パンツやスポンなど簡単なものは一人で着脱するよう促す。 ■様子を見てトイレでの排泄を促す。	■快適に過ごせるよう室温に気を配り、汗をかいたらシャワーで流す。 ■個々の健康状態に気を配り、十分に水分補給を行い、活動と休息のバランスに配慮する。 ■トイレでの排泄を促す。	■体調や気候に合わせて衣服の調節をする習慣をつける。 ■インフルエンザや風邪の予防策(手洗いなど)を立て、取り組む。	■基本的な生活習慣の取得を個々に合わせて援助し、一人でできた喜びを味わい自信が持てるようにする。 ■嫌いな食材でも励ますと食べられるようになる。	
	情緒の安定	■不安や要求を受け止めてもらい、安心して自分の気持ちを表せるように援助する。	■身の回りのことを自分でしようとする気持ちを大切に	■「順番」「交代」「貸して」などの約束を守ることと友達と遊ぶ楽しさを味わえるように仲立ちをする。	■自分の物と、友達の物が少しずつ分かり始め、友達を意識しながら遊んだり行動したりできるようにする。	
教育	健康	★自分で手を洗い、タオルできれいに拭く。 ★スプーンなどを使い、一人で食べるようになる。	★促されてトイレで排泄する。 ★固定遊具、かけっこやボール遊びなどを楽しむ。	★少し遠くの公園までの散歩を楽しめるようになる。 ★保育士等の見守るなか、簡単な衣服は一人で着脱しようとする。	★衣服の調節をしようとする。 ★自分でできることに喜びを感じ身の回りのことをしようとする。	
	人間関係	★保育士や友達との関わりを楽しみ、安心して過ごす。	★保育士に気持ちを受け止めてもらいながら、友達と関わりをもとうとする。	★ぶつかり合いを経験することで、相手の要望に気が付いたりわがやをわがやとする。	★簡単なごっこ遊びで相手を意識し、共通の遊びを進めようとする。	
	環境	★戸外遊びを楽しみ、自然物に触れる。 ★自分の持ち物やロッカー、靴箱に興味を示し覚える。	★水遊びを楽しむ。	★生き物に触れ、命を慈しむ心が芽生える。 ★簡単な数、色、形などの違いを理解しようとする。	★簡単なルールのある遊びができ、また、遊びの中で数を数えるなどの経験を積む。 ★散歩に出かけ、自然物を見たりふれたりする。	
	言葉	★絵本や紙芝居などを楽しむことができる。	★絵本を自分で見たり聞いたりして楽しむ中で、言葉を感じていく。	★遊びを通じて身の回りのいろいろな物の名称を覚える。	★質問に答えたり挨拶をしたりする。 ★思ったことや感じたことを言葉で伝える。	
表現	★リズム表現、楽器に触れることを楽しむ。 ★保育士と共に簡単な制作を楽しむ。	★のりづけ、スタンプ遊び、粘土遊びなどを楽しむ。 ★歌や遊戯などで喜んで歌ったり、楽器でリズム遊びを楽しむ。	★絵本の登場人物や動物になりきって遊ぶ。 ★歌やダンス、簡単な劇などに楽しんで取り組む。	★興味のあるものをクレヨンや絵の具で楽しんで描く。 ★保育士の補助のもとではさみを使い、簡単な製作を楽しむことができる。		
	■環境構成★援助	■玩具を一人一人が満足して遊べるよう十分用意する。 ■グループに分かれてそれぞれ好きな遊びを楽しめる環境にする。 ★水遊びで、夢に遊べるように事前に準備を整える。 ★戸外活動は朝夕の涼しい時間帯に行う。また、テントを用意したり、木陰で休息をとったりする。 ★七夕や、夏祭りなど行事に親しめるよう環境設定を行う。	■外気の温度に留意して、適切な室温、湿度を保つ。 ■グループに分かれてそれぞれ好きな遊びを楽しめる環境にする。 ★水遊びで、夢に遊べるように事前に準備を整える。 ★戸外活動は朝夕の涼しい時間帯に行う。また、テントを用意したり、木陰で休息をとったりする。 ★七夕や、夏祭りなど行事に親しめるよう環境設定を行う。	●運動遊具を組み合わせて、発達に即した環境を設定する。 ●模倣遊びが発展するよう小道具などを十分に用意して、遊びのイメージを広げる。 ●季節にちなんだ題材を準備する。 ★気温の変化から体調を崩しやすい時期なので、衣服調節に留意し、体調管理に配慮する。 ★日常的に起こりうる子ども同士のトラブルに丁寧に関わる。	■外気との温度差が大きいので、衣服調節に留意する。手洗いやうがいを励行する。 ■伝統行事)にちなんだ飾り付けをして関心を高める。 ■進級への期待がもてるよう、新しいクラスなどの環境に触れる機会をもつ。 ★友達との関わりが深まっていく反面、けんかも多くなるので、保育士等は見守りながら子どもの話によく耳を傾ける。 ★保育士等が仲立ちとなり、思いやりの気持ちを育てる。 ●体調の変化に気を付け健康に過ごせるように配慮する。	
長時間・土曜日保育の配慮	家庭と連携し、安心して過ごせるよう配慮する。	休息を取れるスペースを用意する。	一人ひとりの思いを受け止め、情緒の安定を図る。	体調の変化に気を付け健康に過ごせるように配慮する。		
子育ての支援(保護者支援)	●積極的に子どもの様子を伝え、安心感を与える。 ●園の保育目標などを伝え、一緒に子育てできることを喜ぶ。	●夏の疾患についての注意喚起と、対処法、園の対応などを伝える。 ●一人一人の家庭での様子なども聞かせてもらい、プラス面等を伝えて安心感をもたせる。	●体調や気候に合わせて、調節しやすい衣服を用意するように伝える。 ●プレイデーなどの行事の練習による子どもたちの成長を伝え喜びを共有する。 ●年間成長統計グラフを配布する。(10月)	●進級することを保護者と共に喜び、今後の成長に希望が持てるよう、園児の成長を伝え支援する。 ●年間成長統計グラフを配布する。(3月)		
園行事及び園事業	誕生日会(毎月)/子どもの日の会/保育連絡会	誕生日会(毎月)/家族の日/とうもろこしの皮むき体験/七夕/スイカ割り/保育参加/個人面談/夏祭り	誕生日会(毎月)/敬老の日の会/プレイデー/保育参加/個人面談	誕生日会(毎月)/正月あそび/節分/ひなまつり/移動動物園		
期の反省						

年間目標		●衛生的で安全な環境の中で、心身共に健やかに生活する。 ●主体的に行動することを認められ、伸び伸びと過ごす。 ●身の回りのことが自分でできるようになる。	●保育士や友達、異年齢の子どもたちとの触れ合いを通して、人との関わりやコミュニケーション力を身に付ける。 ●文字や数、社会事象や自然に触れ興味を持つ。	健康・安全・災害 ●受け入れ時、受け入れ後の十分な視診。 ●毎日の清掃や消毒、園内外の安全点検 ●避難訓練を通して災害時に安全に避難する方法を身に付ける。 ・身体測定・避難訓練(毎月)	一年間の保育に対する自己評価
保育目標	全身を使って遊び運動能力をのばす	基本的習慣が身につく身の回りのことを進んでしようとするクラス	一人ひとりが生き生きと過ごせるクラス	周りの友達のことを思いやり関わるクラス	
期	1期(4月～5月)	2期(6月～8月)	3期(9月～12月)	4期(1月～3月)	
園児の姿	●進級に期待し、新しいことに興味を示す姿がある一方で、不安な姿もみられる。 ●薄着裸足で生活し、戸外で自然と触れ合いながら好きな遊びを楽しむ。	●生活の流れに慣れ、安定して過ごす。 ●友達や保育士等と一緒に夏の遊びをダイナミックに楽しむ。 ●生活の中での疑問を言葉で繰り返し聞こうとする。	●友だちとの関わりが深まり仲良しの友達ができる。 ●身の回りの始末などを進んで行おうとする	●寒さに負けず冬の遊びを楽しむ。 ●進級への喜びや期待をもって意欲的に生活する。 ●身の回りの始末や生活の基本になる行動が身に付く。	
ねらい	●部屋や保育士、友達に慣れ、安心して過ごす。 ●できることは自分でしようとする。 ●気の合う友達や保育士と、春の遊びや好きな遊びを十分に楽しむ。	●梅雨や夏の遊びを十分に楽しむ。 ●気温の差や日差しに留意し、健康に過ごす。 ●生活や遊びの約束事を知り、守ろうとする。	●友だちと。一緒に体を動かしたり、自然物を使った遊びを楽しむ。 ●行事を通して成功や失敗を経験し、成長する姿がある。	●互いの成長を感じながら、進級する喜びや期待をもつ。 ●基本的な生活習慣が身に付き、自分で行動する。	
養護	生命の保持	■園内外の危険や安全についての約束事を伝え、安全に生活できるようにする。	■水分補給や休息、衣服の調節をして快適に過ごせるようにする。 ■職員間で協力して水の事故を防止するなど安全に努める。	■運動量が増えるので休養を十分に取り、体調を崩したり怪我が起きないように配慮する。	■手洗いうがいをしっかり行い、換気や清掃で感染予防に努める。
	情緒の安定	■子どもたちが安心して過ごせるよう、一人一人の気持ちを受け止め、優しく丁寧に対応する。	■園が自分の気持ちを素直に表わせる、安心の場となるようにする。 ■自己中心的感情が多くみられるが、人と関わる中で自己抑制や社会性を体験させていく。	■物事に意欲を持って取り組む気持ちを大切に、できたことを認め心の安定に努める。 ■友達や保育士と気持ちを伝えあうことができるよう信頼関係を育てていく。	■遊びを通して生活への自発性が豊かになり、認めてあげることで成長する喜びを知らせていく。 ■成長の喜びを知り、自信を持って進級できるようにする。
教育	健康	★生活の仕方を自分でしようとする。 ★戸外で体を動かし満足感をえる。	★食事・排泄・着脱など自分でできることは自分でしようとする。 ★夏の過ごし方を知り、水分や休息をとる。	★鼻かみや手洗いうがいができる。 ★交通ルールを意識しながら安全に散歩する。	★衣服の調節や身だしなみが整えられる。 ★生活の流れが分かり、日常なことは主体的に行えるようになるを楽しむ。
	人間関係	★クラスの友達や保育士等と楽しく遊び、自分の仲間やクラスのことを理解する。	★年上の子どもたちに刺激され、体育遊びに意欲的に挑戦しようとする。 ★遊びや生活を通して、簡単なきまりや約束が少しずつ身に付く。	★一緒に遊びたい気持ちから、我慢することを覚える。 ★プレイデーでは自分や友達と一緒に頑張ったことを喜び満足する。	★友達を思いやり手伝ってあげようとする。
	環境	★戸外で草花、虫に触れ春の自然を感じる。 ★生活や遊びのきまりごとを意識しながら生活しようとする。	★雨具を付けて雨の日の園庭を散策する。 ★夏野菜を育てたり、収穫した野菜を味わったりする。	★秋の自然に触れて心を動かす。 ★動物を観察して、生き物の命の大切さを知る。	★冬の遊びや自然現象の不思議を味わい、関心をもつようになる。
	言葉	★自分の気持ちを言葉で伝えられるようにする。★元気に挨拶を交わす心地よさを知る。	★保育士との会話、絵本の読み聞かせにより言葉を習得し、会話を楽しむ。 ★簡単な文字や数字に興味を示す。	★生活や遊びの中で文字や数、図形や量などに関心をもち、いろいろな場面で使ってみようとする。 ★季節の歌やわらべ歌を通して、言葉の模倣遊びを楽しみ言葉の意味を理解する。	★挨拶や返事などがスムーズに言えるようになる。 ★相手に分かるように話すことの大切さに気付く。
	表現	★楽しく歌を歌う。 ★リズム遊びを楽しむ。	★砂、泥、水など様々な素材に触れ、夏の遊びを全身で楽しむ。	★秋や冬の自然に触れ、製作や描写を楽しむ。 ★友達と一緒に、歌や劇の練習をする楽しさを味わう。	★物語からイメージを広げ、仲の良い友達といろいろな表現を楽しむ。 ★たくさん経験を積み、絵の表現が豊かになる。
■環境構成★援助	■時間に余裕をもち、ゆったりとした一日の流れになるよう配慮する。 ■やりたい遊びが十分にできる道具や教具等を設定する。 ■言葉で伝わりにくいことは、手順などを図に表わして掲示し、理解しやすい工夫をする。	■室内外の暑さ対策として、風通し、帽子、水分補給、日陰などを整える。 ■興味や関心をもつ感じ積極的に行動できる環境づくりに努める。 ★子どもの様子を十分に観察し、体調の変化に気付くようにする。	■必要な運動用具を整え、子どもが意欲的に取り組めるようにする。 ■文字や数に関する興味を助長できる教具を吟味して整える。 ■自然の中で遊ぶことにより五感の成長を促す。 ★行事でゆとりを失わないように配慮する。	■年度末のあわただしさの中でも、子どもたちの楽しい日々を保障する。 ■一人一人の成長を認めながら進級への期待がもてるようにする。	
長時間・土曜日保育の配慮	家庭と連携し、安心して過ごせるよう配慮する。	休息を取れるスペースを用意する。	一人ひとりの思いを受け止め、情緒の安定を図る。	体調の変化に気を付け健康に過ごせるよう配慮する。	
保護者支援	●保護者との信頼関係を築けるよう、思いを聞いたり子どもの様子を伝えたりしていく。 ●書類や申し送り、面談などで事前に家庭の状況をよく把握しておく。	●登園の遅い子や生活が不規則な家庭は生活リズムの見直しをお願いする。 ●プールカードの記入の仕方などを丁寧に伝え、家庭とうまく連携できるようにする。	●急に厚着にさせないことや、動きやすい防寒着の用意をお願いする。 ●行事は子どもたちの成長のためにあることを理解してもらえようとする。 ●年間成長統計グラフを配布する。(10月)	●子どもの成長を家庭と共に喜び合う。 ●年間成長統計グラフを配布する。(3月)	
園行事及び園事業	誕生日会(毎月)/子どもの日の会/保育連絡会/若葉の日	誕生日会(毎月)/家族の日/とうもろこしの皮むき体験/七夕/スイカ割り/保育参加・個人面談/夏祭り	誕生日会(毎月)/敬老の日の会/プレイデー	誕生日会(毎月)/正月/獅子舞/節分/うどん作り/ひな祭り/お別れ会/移動動物園	
期の反省					

年間目標		●保育士や友達との関わりを深め、友達の気持ちにも気付き、集団で行動できるようになる。 ●様々なものに関わり、発見や工夫を楽しむ。	●生活や遊びの中から、友達と一緒に過ごすことを楽しみながら、自己発揮できるようにする。 ●集団的、協同的遊びを通して、同じ目的に向け協力し合う力を養う。	健康・安全・災害	●身の回りの生活や衛生面について、基本的な習慣を身に付ける。 ●毎月の避難訓練を通して、災害等についての対応を知り、生きる力の基礎を培う。 ・身体測定・避難訓練(毎月)	一年間の保育に対する自己評価
保育目標	全身を使って遊び運動能力を伸ばす	基本的な生活習慣が身につく身の回りのことを進んでしようとするクラス	一人ひとりが生き生きと過ごせるクラス	周りの友達のことを思いやり関わるクラス	友達同士協力して何かを取り組めるクラス	
期	1期(4月～5月)	2期(6月～8月)	3期(9月～12月)		4期(1月～3月)	
園児の姿	●進級を喜び、意欲的に生活をする。 ●好きな遊びを見つけ、集中して遊べるようになる。	●友達と関わりを楽しみ、身体を動かしているような遊びや体験をやってみようとする気持ちをもつ。	●友達と協力し合うことを経験し、仲間意識を持つ。 ●自他を区別し、保育士に共感してもらったり友達と競争したりしながら遊ぶ	●様々な活動を通して自信をもって生活し、生活や遊びのきまりを守るようになる。 ●自他を区別し、保育士に共感してもらったり友達と競争したりしながら遊ぶ		
ねらい	●新しい生活に慣れ安心して過ごす中で、自分でしたい遊びを見つけたり、保育士等や友達と触れ合って遊ぶ楽しさを知り味わう。	●正しい言葉づかいをする機会を持たせ、人前でも恥ずかしがらずに話したり、聞いたりする態度を育てる。	●自発活動の場を十分に与え、成就の喜びを持たせると共に、自立の態度を促す。	●友達とのつながりを深めながら、様々な活動を通して自立と自信を養うと共に、集団行動の大切さを知る。		
養護	生命の保持	■一人ひとりの健康状態や発達状態を把握し、適切に対応し自ら気付けるように援助する。 ■子どもに健康や安全の大切さを知らせ、安全な環境づくりに努める。	■生活リズムを整え、健康的な生活を送るために必要な習慣を身に付けられるようにする。 ■健康状態を把握し、自分の身体の異常を訴えられるようにする。	■一人一人の体調の変化にいち早く気付く、健康に過ごせるよう対応する。 ■基本的な生活習慣や態度を身に付けられるようにする。	■健康と安全を踏まえ、全身を使う運動を取り入れ、発達段階に応じた活動を促す。	
	情緒の安定	■進級した不安や期待を保育士等に受け止めてもらい、日々の生活に安心感を持ち、伸び伸びと友達と関わっていきけるようにする。	■子ども同士の遊びを豊かにし、友達との関係の中で徐々に自分を発揮できるようにする。	■子ども一人一人の姿を認め、満足感や達成感を味わえるよう配慮し、安心や自信をもって活動できるようにする。 ■やりとりを重ねる中で、お互いの良さを認め合えるように集団で一人ひとりの良さをいかしていく。	■進級に対する期待を受け止めながら、不安なく過ごせるように一人一人と関わる。 ■与えられた役割を責任をもって果たすことで達成感を味わえるようにする	
教育	健康	★食事や排泄、着脱などの基本的な生活の仕方を知り、自分でしようとする。 ★全身で様々なものに関わり、運動量の多い遊びに挑戦する。	★遊んだあとのお片付けや汚れた衣服の始末など、身の回りのことを意欲的にやる。 ★十分に遊んだ後は自ら水分補給や休息をとろうとする。	★自分の身体の状態を意識し異常を感じたら保育士に伝える。 ★自分の健康に関心を持ち、様々な食べ物を選んで食べる。	★衣服の着脱や食事・排泄など健康な生活に必要な習慣をしつかり身に付ける。 ★衛生的で安全な場所、思いきり遊べる心地よさを知る	
	人間関係	★仲間といることの喜びや楽しさを感じながら、つながりを深める。 ★保育士や友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じ喜んで登園する。	★生活や遊びの中で約束やきまりを守ろうとする。 ★簡単なルールのある遊びを楽しむ。 ★友達と一緒に活動する楽しさを知る	★自ら挨拶する事でコミュニケーション能力をつける。 ★地域や身近な人たちとの触れ合いを楽しみ、親しみを感じる。 ★自己を十分に発揮したり他者と協調して生活する事を楽しむ	★友達と楽しく生活する中で、きまりの大切さに気付き守ろうとする。 ★友達と関わる中で相手の気持ちに気づいていく	
	環境	★自然など身近な環境への関わり方や遊び方を体得していく。	★身近な動植物を見たり、触ったり、においを嗅いでみたりしながら様々なものに興味・関心をもつ。 ★身近な事物に自ら関わり、扱うことで、数・量・形等に関心を持つ。	★目的をもって行動し、造る・描く・試すことで創造力を豊かにしていく。 ★季節により自然や人間の生活に変化があることに気付く。 ★生き物に触れ、命の尊さを感じる。	★冬の自然事象に興味や関心を持ち、感動したり疑問をもったりする。 ★地域の行事や社会事象に関心をもつ。	
	言葉	★経験した事や思った事を話し、言葉で伝える楽しさを知り味わう。 ★自分の名前などの文字に興味を持つ	★保育士や友達の話を、興味をもって聞くこととする。 ★したいこと、してほしいことを自分の言葉で伝える。 ★生活や遊びの中で友達との言葉のやり取りを楽しむ。	★「ごめんない」「ありがとう」が素直に言えるようになる。 ★絵本や物語に興味を持ち、イメージを広げたり、興味を持った文字を探し読んでみようとする。	★自分の思いや考えを、言葉で相手に伝えようとする。 ★保育士等や友達の言葉を注意して聞き、相手の思いや内容を理解しようとする。	
	表現	★身近な素材に親しみ、描いたり作ったりすることを楽しむ。 ★生活の中で様々な音・色・形・感触・動き・味・香りなどに気付いたり感じたりして楽しむ。	★水、砂、泥などの様々な素材に触れて遊びを展開していく。 ★歌や簡単な合奏をみんなで楽しさを味わう。	○歌詞に興味を持ったり、リズム打ちを楽しみ音楽やリズムに合わせてりしようとする ○イメージや意志、目的をもって表現する	★自分のイメージを動きや言葉など、いろいろな方法で表現して遊ぶ楽しさを味わう。 ★感じた事、考えた事を音や動き、描画や制作で表現する。	
	■環境構成 ★援助	■施設内外の整備、用具の清掃および消毒 ■園が安心して楽しいところであると感じられるように、家庭との連携をもとに、一人一人が落ち着ける場を確保する。 ■自由に位活動できる環境を設定する。 ■異年齢児との交流を体験し、年長児への憧れととみに小さい組の手助けとなれることを意識しながら関わりを深めさせる。 ★他者との関わりがうまくなるように、人の話はよく聞き、また自分で話して伝えることも大切だと知らせていく。	■感染症防止のための消毒 ■自然と十分に触れ合いが持てるよう、園の畑での植物栽培を体験させ、野菜の生長に興味をもてるようにする。 ★汗をかいたらふいたり、疲れたら水分補給や休息をとることの大切さを知らせていく。 ★水に親しみ、喜んで水遊びができるよう、プールや泥遊び、栽培している植物への水やりなどを遊びの中に取り入れる。	■危険物の排除 ■子ども同士と一緒に生活する楽しさを味わえるように交流の場を設け、簡単なイメージを伝え合えるような素材を用意する。 ★畑の野菜などに触れて食欲がわいたり、嫌いな物でも食べてみようという気持ちになれるよう声掛けをしていく。また、友達や保育士等との食事を楽しめるように環境設定をする。	■保育室の湿度・温度に注意する ■いろいろな遊びや生活、当番の仕事などを体験しながら引継ぎができる場を構成する。 ★日本の伝統を身近に感じられるよう、正月遊びを取り入れていく。 ★進級することを楽しみに待ち、互いに喜びあえるよう配慮する。 ★遊ぶ時と、集中して取り組む時のけじめをつけられることの大切さを伝える。	
長時間・土曜日保育の配慮	家庭と連携し、安心して過ごせるよう配慮する。	夕方休息を取れるスペースを用意する。	一人ひとりの思いを受け止め、情緒の安定を図る。	体調の変化に気を付け健康に過ごせるように配慮する。		
保護者支援	●進級・入園してからの一人一人の気持ちを認め、病気や体調不良が生じないように家庭との連携を密にする。 ●保護者の不安を受け止め、安心できるようにしていく。	●保育参観・懇談・行事などを通して子どもの成長を知らせ、園との信頼関係を築いていく。	●子どもたちの生活の仕方や活動について、共通認識をもてるように情報を共有し、協力してもらう。 ●年間成長統計グラフを配布する。(10月)	●進級に向け、子どもの成長や喜びの気持ちを大切に、保護者とともに期待を支えていけるように配慮する。 ●年間成長統計グラフを配布する。(3月)		
園行事及び園事業	誕生日会(毎月)／子どもの日の会／保育連絡会／若葉の日	誕生日会(毎月)／家族の日／とうもろこしの皮むき体験／七夕／スイカ割り／保育参加・個人面談／夏祭り	誕生日会(毎月)／敬老の日の会／ブレイダー／味噌づくり育体験	誕生日会(毎月)／正月／獅子舞／節分／うどん作り／ひな祭り／お別れ会／卒園式／移動動物園		
期の反省						

こむぎ保育園

令和 6年度

年間指導計画 5歳児 さくら組・けやき組

<p><b>年間目標</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●集団生活の中で意欲的に活動し、仲間との関わりを通して生きる力の基礎を培う。</li> <li>●意欲的な活動を通して、疑問や発見などによる事物への関心を深める。</li> <li>●身の回りの事象に触れ、ものの性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。</li> </ul>	<p>幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 10項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健康な心と体</li> <li>●自立心</li> <li>●協同性</li> <li>●道徳性・規範意識の芽生え</li> <li>●社会生活との関わり</li> <li>●思考力の芽生え</li> <li>●自然との関わり・生命尊重</li> <li>●数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚</li> <li>●言葉による伝え合い</li> </ul>	<p>小学校との連携 (小学校教育との接続)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●園児が小学校を訪問することで、小学校に興味をもつ。</li> <li>●小学生が職場体験をしに、園に来る。</li> <li>●保育要録を記入し、小学校に送付する。</li> <li>●地域の学校の公開授業などを見学し、小学校との連携をする。</li> </ul>	<p>健康・安全・災害</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●避難訓練の大切さ、意味を理解し、安全に避難しようとする。</li> <li>●健康な体づくりに関心をもち、内科検診等を通して、病気や事故防止など</li> </ul>	<p>一年間の保育に対する自己評価</p>
<p><b>保育目標</b></p>	<p>全身を使って遊び運動能力を伸ばす</p>	<p>基本的な生活習慣が身につく 回りのことを進んでしようとするクラス</p>	<p>身の</p>	<p>一人ひとりが生き生きと過ごせるクラス</p>	<p>周りの友達のことを思いやり関わるクラス</p>	<p>友達同士協力して何かを取り組めるクラス</p>
<p><b>期</b></p>	<p>1期(4月～5月)</p>	<p>2期(6月～8月)</p>	<p>3期(9月～12月)</p>	<p>4期(1月～3月)</p>		
<p><b>園児の姿</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新しい環境の中で、自信を持ち意欲的に活動に取り組む。</li> <li>●年長児になる喜びを感じ、意欲的に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●様々な活動の中で、互いの気持ちを表現し合い、運動機能高め、楽しく遊ぶ。</li> <li>●友達と意見を出し合いながら、遊びの幅を広げていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●行事を通し、仲間意識を深め親しみを持ち、充実感・達成感を味わいながら過ごす。</li> <li>●同じ目的に向かい取り組み、一つのことを成し遂げていき、充実感を味わっていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●就学に向けて期待をもちながら意欲的に行動していく。</li> <li>●きまりを守り、見通しをもって過ごす。</li> <li>●一人一人が自覚と自信をもち、充実感を味わいながら過ごし、様々な人に触れ、成長を感じ、感謝の気持ちをもつ。</li> </ul>		
<p><b>ねらい</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●年長児としての自信と意欲をもち、様々な活動に取り組む。</li> <li>●新しい環境の中、落ち着いて生活し、遊びを楽しむ。</li> <li>●季節の変化や自然の美しさに興味をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●様々な活動を通し、運動機能を高め活発に遊ぶ。</li> <li>●共に遊びながら、気持ちを伝え合い、工夫し、幅を広げていく。</li> <li>●異年齢児と関わりを持ち、優しい心を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中間の必要性を実感し、自覚や自信を持ち、友達への親しみや信頼感を高める。</li> <li>●同じ目的・目標を持ちながら一つのことを成し遂げていき、充実感を味わう。</li> <li>●様々な活動を通し、表現力を豊かにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●互いのよさを認め合いながら、集団生活のきまりを守り、見通しをもって生活する。</li> <li>●様々な経験や対人関係の広がりを通し、自立心高め、就学への意欲をもつ。</li> <li>●一人一人の安全に対する認識や関心を高めていく。</li> </ul>		
<p>養護</p> <p><b>生命の保持</b></p> <p><b>情緒の安定</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■基本的な生活リズムを整え、健康な生活を送るために必要な習慣を身に付けていけるようにする。</li> <li>■身体測定や体の話などを通し、自分の体に興味をもてるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■清潔で安全な環境を整え、適度な運動と休憩のバランスが取れた生活を送れるようにする。</li> <li>■衣服の調節、水分補給を行い、バランスのとれた食事をし、暑さに負けずに過ごせる体づくりをしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■健康な体づくりに関心をもち、偏食をなくしたり、減らしたりし、健康的な生活習慣を身に付けていく。</li> <li>■一人一人が安全に留意し、行動するように事故防止に対する認識を深めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■健康で安全な環境を整え、快適に過ごせるようにする。</li> <li>■基本的な生活習慣が身につく。自分で出来た事に自信や満足感を持つようにする。</li> </ul>		
<p>教育</p> <p><b>健康</b></p> <p><b>人間関係</b></p> <p><b>環境</b></p> <p><b>言葉</b></p> <p><b>表現</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★保育士等や友達との関わりを楽しみ戸外で伸び伸びと遊ぶ。</li> <li>★グループで活動する中で遊びを工夫し、計画を立てたり友達とのつながりを深める。</li> <li>★野菜・花を栽培したり、昆虫に触れたりして生命力・命の尊さを認識する。</li> <li>★保育士等や友達の話を聞き、内容を理解したり、自分の気持ちを伝えようとしていく。</li> <li>★絵本や紙芝居に親しみ、その面白さが分かる。</li> <li>★友達と一緒に歌ったり、踊ったりすることを楽しみ、様々な素材を使用し製作することも楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★暑さに負けずに食事を取り、体力づくりをし、夏の遊びを楽しむ。</li> <li>★自分の身体に関心を持ち、健康な生活を送るために必要なリズムを身につける。</li> <li>★遊びを通して意見や感情の行き違いを経験し、相手の気持ち、考えを分かろうとする</li> <li>★年下の子どもを助ける、思いやる気持ちが芽生える。</li> <li>★身の回りの事象や自然の変化に気付き、感性を豊かにする。</li> <li>★自分の経験や思い、考えを自分の言葉で伝えていく。</li> <li>★絵本、物語に親しみ想像力を豊かにする</li> <li>★歌詞や情景を思い浮かべながら歌うことや表現することを楽しむ。</li> <li>★水、砂、泥などの様々な素材に触れて遊びを展開していく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★病気の予防に関心を持ち、手洗いやうがいをして健康な生活習慣を身につける</li> <li>★寒暖を感じ衣服の調節を行う</li> <li>★縄跳びを行い、丈夫な体作りを行う</li> <li>★皆で協力し、一つの目標に向かい、頑張る大切さや素直さを知る。</li> <li>★集団生活の中で、自己主張をしたり相手の意見を取り入れたりしながら協力しあう</li> <li>★生き物に触れ、その生態について関心をもつと共に、命を慈しむ。</li> <li>★言葉や文字・記号などに関心をもち、自分の思いを伝える手段として取り入れていく。</li> <li>★場面により言葉を使い分けていく。</li> <li>★楽器を使い、音色の美しさやリズムの面白さを味わう。</li> <li>★物語の世界のイメージをふくましながら劇で表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★体の仕組みや器官等の名称に興味・関心をもつ</li> <li>★寒さに負けず身体を動かし、様々な運動遊びに取り組む</li> <li>★就学することに期待を持ち、早寝早起きの生活リズムを身につける</li> <li>★様々な人との触れ合いを通し、自分が成長したことに気付き、感謝の気持ちをもつ</li> <li>★生活の中で見通しをもち、時間を意識しながら行動していく。</li> <li>★身近な自然の美しさや季節の移り変わりに親しみをもち、気付く。</li> <li>★日常生活を通して、文字・数・標識等に興味をもち関心を深める。</li> <li>★言葉遊びを楽しんだり文章を書く楽しさを知る。</li> <li>★生活の中で感じたことや、考えたことなどを自由に表現する。</li> <li>★卒園製作に取り組む</li> <li>★卒園式発表の準備を行う</li> </ul>		
<p><b>環境構成</b></p> <p><b>★援助・配慮</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■安心して安全に過ごせる保育環境を整え、明るい雰囲気や装飾等をしていく。</li> <li>■身近な物を分かりやすく、整理整頓するスペースを作る。</li> <li>■歯や体についての絵本を読み、興味をもたせていく。</li> <li>■新しい環境に喜びと不安を抱いているので、一人一人の生活リズムに合わせ、ゆとりをもち関わっていく。</li> <li>★一緒に生活や遊びの場を考えたり作ったりし、その過程を通し、年長組になった実感がもてるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■自然の変化に気付けるよう、絵本や図鑑をすぐに見やすい位置に用意する。</li> <li>■時計を見ながら行動できるよう、時間の目安を決めながら行動する。</li> <li>■自分の思いを素直に表現している場をつくっていく</li> <li>★一人一人の気持ちに共感し、自然の変化や動植物への興味・関心を育てていく。</li> <li>★個々の健康状態を把握し、異常を感じた時には対応していく、自分の体の状態を意識し、伝えられるようにしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■様々な運動器具、用具の安全点検を行う。</li> <li>★いろいろな楽器を用意し、楽器の演奏の仕方、音色の違い、美しさに気付けるようにする。</li> <li>★皆で一つのことに取り組む楽しさを伝え、頑張っている姿を認め、あきらめずに挑戦していくことの大切さを知らせていく。</li> <li>★自分とは異なる存在を受け止め、様々な感情の経験ができるようにする。</li> <li>★友達同士で励まし合い、認め合えるよう見守っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■生活の中で感じたことや考えたことを自由に表現する機会を設ける。</li> <li>■一日の生活の流れを見通し、行動できるように時計を用意し、黒板等に時間を書き、分かりやすく表示する。</li> <li>■小学校との交流を通し、就学への期待を膨らませる。</li> <li>★友達同士で考えを出し合いながら好きな遊びにじっくりと取り組んでいける時間やスペースを確保していく。</li> <li>★行事を通して自信を付け、誇りを持ち就学を迎えられるようにしていく。</li> <li>★友達と一緒に就学するのを楽しみに待てるような言葉掛けを行う。</li> </ul>		
<p><b>長時間・土曜日保育の配慮</b></p>	<p>家庭と連携し、安心して過ごせるよう配慮する。</p>	<p>休息を取れるスペースを用意する。</p>	<p>一人ひとりの思いを受け止め、情緒の安定を図る。</p>	<p>体調の変化に気を付け健康に過ごせるよう配慮する。</p>		
<p><b>保護者支援</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●園の様子を伝えたり、家庭での様子を聞いたりしながら生活リズムを整え、信頼関係を築いていく。</li> <li>●全てを手助けするのではなく、自分で行おうとする気持ちを支えてもらい、見守ってもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●成長していく様子をおたよりなどで知らせ、温かく見守りながら励ましていくことの大切さを理解してもらう。</li> <li>●園行事について十分に説明を行い、協力しながら進めていけるようにし、子どもの楽しむ姿を喜んでもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●様々な行事を通し頑張っている姿を十分に認めてもらい、自信をもち活動していけるようにする。</li> <li>●保護者とともに成長の様子を見守りながら、連携を深めていく。</li> <li>●年間成長統計グラフを配布する。(10月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●卒園に向けての生活や就学までに身に付けておきたいこと、準備しておくことなどを知らせる。</li> <li>●成長を喜び、小学校に向け意欲的に過ごせるように連携を取る。</li> <li>●年間成長統計グラフを配布する。(3月)</li> </ul>		
<p><b>園行事及び園事業</b></p>	<p>誕生日会(毎月)/子どもの日の会/保育連絡会/若葉の日</p>	<p>誕生日会(毎月)/家族の日/とうもろこしの皮むき体験/七夕/スイカ割り/保育参加/個人面談/夏まつり</p>	<p>誕生日会(毎月)/敬老の日の会/高尾山遠足/プレイデー/サンマの食育体験</p>	<p>誕生日会(毎月)/正月/獅子舞/お楽しみ保育/節分/うどん作り/ひな祭り/お別れ会/卒園式/移動動物園</p>		
<p><b>期の反省</b></p>						

こむぎ保育園

令和 6年度

年間指導計画 3～5歳児

<p><b>年間目標</b></p>	<p>●集団生活の中で意欲的に活動し、仲間との関わりを通して生きる力の基礎を培う。 ●意欲的な活動を通して、疑問や発見などによる事物への関心を深める。 ●身の回りの事象に触れ、ものの性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。</p>	<p><b>幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 10項目</b></p>	<p>●健康な心と体 ●自立心 ●協同性 ●道徳性・規範意識の芽生え ●社会生活との関わり ●思考力の芽生え ●自然との関わり・生命尊重 ●数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ●言葉による伝え合い ●豊かな感性と表現</p>	<p><b>健康・安全・災害</b></p> <p>●避難訓練の大切さ、意味を理解し、安全に避難しようとする。 ●健康な体づくりに関心をもち、内科検診等を通し、病気や事故防止などの認識を深められるようにする。 ・身体測定・避難訓練(毎月) ・内科検診(6月、12月)、歯科検診(11月)</p>	<p><b>一年間の保育に対する自己評価</b></p>
<p><b>保育目標</b></p>	<p>全身を使って遊び運動能力を伸ばす</p>	<p>基本的な生活習慣が身につく身の回りのことを進んでしようとするクラス</p>	<p>一人ひとりが生き生きと過ごせるクラス</p>	<p>周りの友達のことを思いやり関わるクラス</p>	<p>友達同士協力して何かを取り組めるクラス</p>
<p><b>期</b></p>	<p><b>1期(4月～5月)</b></p>	<p><b>2期(6月～8月)</b></p>	<p><b>3期(9月～12月)</b></p>	<p><b>4期(1月～3月)</b></p>	
<p><b>ねらい</b></p>	<p>○園生活に慣れる ○好きな遊びを十分に楽しむ ○新しい環境に慣れる</p>	<p>○様々な活動を通して運動機能を高め、喜んで活発に遊ぶ ○友達との関わりを楽しみながらルールを覚える</p>	<p>○中間の必要性を実感し、仲間の中の一人としての自覚や自信を持ち、友達への親しみや信頼感を高める</p>	<p>○様々な経験や対人関係の広がりを通じ、自立心を高め、就学への意欲を持つ ○生活習慣が身につく、自分で行動する</p>	
<p><b>養護</b></p>	<p><b>生命の保持</b> ○生活習慣を再確認し、健康な生活を送るために必要な事を身につけられるようにする</p> <p><b>情緒の安定</b> ○保育士との関わりの中で信頼関係を築き、自分の気持ちを伝え、安心して過ごせるようにする</p>	<p>○適度な運動と休息をとる事の必要性を知らせ、健康に過ごせるようにする</p> <p>○生活リズムを整える事の大切さを理解出来るようにする ○子ども同士の遊びを豊かにし、友達との関係の中で徐々に自分を発揮する</p>	<p>○病気や事故防止などの認識を深められるようにする</p> <p>○保育士に認められたり褒められたりする中で、自信を持って生活できるようにする</p>	<p>○基本的な生活習慣が身につく、自分で出来た事に自信や満足感を持てるようにする</p> <p>○安定した生活リズムの中で、ゆったりと安心して過ごせるようにする</p>	
<p><b>教育</b></p>	<p><b>健康</b> ○保育士等や友だちとの関わりを楽しみながら、戸外でのびのび遊ぶ ○身近な環境に興味を持って関わり、遊びを獲得していく</p> <p><b>人間関係</b> ○友達といふ事の喜びや楽しさを感じながら、つながりを深める ○保育士や友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる ○保育士が側にいることで情緒の安定を得る</p> <p><b>環境</b> ○身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。</p> <p><b>言葉</b> ○保育士や友だちの話をよく聞いて、内容を理解したり自分の気持ちを伝えようとする</p> <p><b>表現</b> ○友達と一緒に歌ったり、身体表現をしたりすることを楽しむ ○生活の中で様々な音、色、形、手触り、動き、味、香りなどに気付いたり感じたりして楽しむ</p>	<p>○自分の身体に関心を持ち、健康な生活を送る為に必要なリズムを身につける ○十分に遊んだ後、自ら水分補給や休息をとろうとする</p> <p>○遊びを通し意見や感情の行き違いなどを経験し、相手の気持ち、考えを分かろうとする ○年下の子どもを助け、思いやる気持ちが芽生える ○身近な大人からの優しさやいたわりを心で感じたり、スキンシップをはかる</p> <p>○身の回りの事象や季節の変化に気付き、感性を豊かにする</p> <p>○自分の経験や思い、考えを自分の言葉で話し、伝えていく</p> <p>○水、砂、泥などの様々な素材に触れて遊びを展開していく ○友達とイメージを言葉にして共有し、一緒に表現する事を楽しむ</p>	<p>○病気の予防に関心を持ち、手洗いやうがいを行い健康な生活習慣を身につける ○寒暖を感じ衣服の調節を行う ○縄跳びを行い、丈夫な体作りを行う</p> <p>○みんなで協力し、一つの目標に向かって頑張る大切さや素晴らしさを知る ○グループ活動を行う中で、遊びを工夫したり計画を立てたりして友達とのつながりを深める</p> <p>○身近な自然の美しさを感じたり、自然物を使って、様々な遊びを楽しむ。 ○生き物に触れ命の大切さを知る。</p> <p>○言葉や文字、記号などに関心を持ち自分の思いを伝える手段として取り入れていく</p> <p>○歌を歌ったり楽器を使ったりしてリズムの変化を楽しむ ○絵本、物語に親しみ想像力を豊かにする</p>	<p>○寒さに負けず身体を動かし、いろいろな運動遊びに取り組む ○就学する事に期待を持ち、早寝早起きの生活リズムを身につける</p> <p>○集団生活の中で自己主張をしたり相手の意見を取り入れたりしながら、協力しあう ○友達と関わる中で相手の気持ちに気付いていく</p> <p>○身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたり、またそれを生活に取り入れようとする。</p> <p>○文字に興味を持ち、言葉遊びを楽しんだり文章を書く楽しさを知る</p> <p>○生活の中で感じた事、考えた事などを自由に表現する</p>	
<p><b>■環境構成★援助・配慮</b></p>	<p>■子どもと一緒に生活の場を作る事を大切に ★大きいクラスになった喜びや不安などを十分に受け止めながら、一人ひとりを褒めたり励ましていく</p>	<p>■天気の状態や子ども達の興味、関心に応じて、戸外、室内での遊びが行えるようにしていく ★遊びの中で基本的な動きや技能を十分経験出来るようにする ★子ども同士のトラブルに十分付き合い自分で気持ちの切り替えが出来るよう援助する</p>	<p>■自分達で目標に向かって考えたり、工夫して進めていけるような環境をつくる ★友だち同士で良さを認め合えるようにする ★子ども達のイメージを大切にしながら、自分たちで取り組んだ美観や充実感が味わえるようにする</p>	<p>■卒園、進級までの日々をゆったり過ごせるようにする ■施設内の採光、換気、保温、清潔など環境保健に配慮する ★園生活を振り返り、仲間といふことの楽しさ、クラスのつながり、まとまりをみんなが感じられるようにする</p>	
<p><b>長時間・土曜日保育の配慮</b></p>	<p>家庭と連携し、安心して過ごせるよう配慮する。</p>	<p>休息を取れるスペースを用意する。</p>	<p>一人ひとりの思いを受け止め、情緒の安定を図る。</p>	<p>体調の変化に気を付け健康に過ごせるように配慮する。</p>	
<p><b>保護者支援</b></p>	<p>○家庭と園の様子を聞いたり伝えながら生活のリズムを整えていく ○全てを手助けするのではなく、自分でやろうとする気持ちを支えてもらうようにする</p>	<p>○園便り等で子どもの楽しむ様子を伝える ○保護者の役割を説明し、スキップの重要性を伝え、家族で過ごす時間の大切さを説明する</p>	<p>○様々な行事を通し頑張っている姿を十分に認めてもらい、自信をもち活動していきけるようにする。 ○年間成長統計グラフを配布する(10月)</p>	<p>○進級、卒園にむけての生活や就学までに身につけておきたい事などを知らせていく ○年間成長統計グラフを配布する(3月)</p>	
<p><b>園行事及び園事業</b></p>	<p>誕生日会(毎月)／子どもの日の会／保育連絡会／若葉の日</p>	<p>誕生日会(毎月)／家族の日／とうもろこしの皮むき体験／七夕／スイカ割り／保育参加・個人面談開始(7月～)／夏祭り</p>	<p>誕生日会(毎月)／敬老の日の会／プレイデー／サンマの食育体験／味噌づくり食育体験／高尾山遠足</p>	<p>誕生日会(毎月)／正月／おせち作り／お楽しみ保育／節分／うどん作り／ひな祭り／お別れ会／卒園式／移動動物園</p>	
<p><b>期の反省</b></p>					

2024年度ミールケア食育年間計画表

生活の中で食に触れ、楽しみながら心と身体を育む

食育指導の4つポイント

- ・季節の移ろいを感じ、旬の食材に触れる事で、変化に気づく子ども達の感性を育む。
- ・日本の食文化・食の知恵・味を知ることで、正しい作法を身につけながら子ども達の味覚を育てる。
- ・食と農業のつながりから、自然の恵みに感謝する豊かな心を育む。
- ・自ら作る体験を通じ、「食材」や「食事」に興味を持ち、持続可能な食生活の基礎をつくる。

ミールケア食育ピクトグラム



	1学期				2学期				3学期											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月								
二十四節気	清明 穀雨	立夏 小満	芒種 夏至	小暑 大暑	立秋 処暑	白露 秋分	寒露 霜降	立冬 小雪	大雪 冬至	小寒 大寒	立春 雨水	啓蟄 春分								
目標	環境に慣れ、食事をおいしく食べましょう。				友達と一緒に協力して取り組みましょう。				衛生管理を身につけ、調理・作業を楽しみましょう。											
食育活動内容	<3歳児> クッキーづくり		<幼児> お皿の置き方 <5歳児> お箸の持ち方		<2歳児> レタスちぎり		<4歳児> とうもろこしの 皮むき		<3歳> きのこの運び		<5歳児> さんまの食育		<4歳児> 味噌仕込み		<5歳児> だしの食育		<4歳児> すいとん作り		<2歳児> わかめの食育	
身に付く力と 育みたい力																				
ねらい	クッキーができる工程をしる		食の正しい作法がある事を知る。		野菜に直接触り、形の違いや触感を知る。		旬の食材を知り、食への興味関心を高める。		旬の食材を知り調理を楽しむ。		旬のさんまについて知る。お箸を上手に使いさんまの骨をとる。		味噌は何から作られるのか、味噌ができるまでの工程を知り味噌を仕込む。		だしのうま味を感じ、多くの料理に入っていることを知る。		すいとんができる工程を知る。郷土料理を知る機会にする。		海藻がどのようにして育ち、収穫され料理となるのかを知る	
保育との関わりで 大切にすること	積極的に参加するように雰囲気を作る		日本の伝統的な作法を身に付けさせる。		野菜を見るだけでなく触ることで形や触感の違いを感じさせる。		調理される前の状態を見せ、とうもろこしそのものの香りや触感を感じさせる。		様々な種類のきのこを学び、触感や香りを感知しながら友達と協力して作ることができるよう配慮する。		生のさんまから焼き上がるまでの過程を、五感全てを使って感じられるように促し、「いただきます」の意味を伝える。		味噌が日本の食文化の一つであることと作り方を伝え、実践させる。		だしを味わうときには、特に風味、味の違いがあることを感じさせる。		積極的に参加するように雰囲気を作る		子供たちが食品の変化(乾物が戻る様子)をしっかり観察できるように配慮する	
効果	食べ物を作る楽しさを体感する		一汁三菜の食器の位置がわかり、正しい位置に食器を置くことができる。		野菜の断面を知り、香りや触感の違いも感じながら、野菜の名前を覚えるようになる。		とうもろこしの旬の時期が分かり、皮を剥くなど食材に準備に興味を持って関わるようになる。		食材に興味関心を持たせながら、食事作りにかかわるようになる。		「いただきます」の意味を知り、食材の命に感謝の気持ちを持って食事をとるようになる。		味噌づくりの大変さを感じながらも、手を動かし一緒に楽しんで味噌の仕込みができる。		料理にだしが入っていることを知り、料理を味わって食べるようになる。		食べ物を作る楽しさを体感する		見るだけでなく匂いを嗅ぎ、触れることで食べ物への関心が高まる。	

# こむぎ保育園 令和6年度 食育計画 0・1・2歳児

【健】…食と健康 【人】…食と人間関係 【文】…食と文化 【命】命の育ちと食 【料】…料理と食

年間目標	0歳		1歳		2歳		アレルギー対応	
		<p>【健】食べ物に興味を持ち、好き嫌いをなく、しっかりと噛んで完食できるようにする。</p> <p>【人】安定した人間関係の中、楽しく食事ができる。</p> <p>【文】食事の前には挨拶があるということを知る。</p> <p>【命】お腹が空き、進んで離乳食を喜んで食べる。</p> <p>【料】いろいろな食べ物を見る、触る、噛んで味わうなどの経験を通して自分で進んで食べようとする。</p>	<p>【健】好き嫌いをせずに何でも食べ、自ら意欲的に食事ができる。</p> <p>【人】様々な人と楽しく食事ができる。</p> <p>【文】挨拶や手洗いを進んで行き、食事の準備中や食後など、静かに待てるようになる。</p> <p>【命】野菜の栽培を見ることで、食材に興味をもつ。</p> <p>【料】旬の野菜や魚などの美味しさを知る。</p>	<p>【健】自分が苦手なものも進んで食べ、自分の体や健康に興味をもてるようになる。</p> <p>【人】様々な人と一緒に食べる楽しさを味わい、マナーを守って食事をする。</p> <p>【文】食前、食後は静かに席に座って待てるようになる。</p> <p>【命】挨拶や手洗いを進んで行き、作ってくれた人への感謝の気持ちをもち、</p> <p>【料】バランスよく食べる大切さを知る。</p>	<p><b>アレルギー対応</b></p> <p>●個々のアレルギーの状況を指示書・検査結果表をもとに把握し、代替食を提供する。</p> <p>●アレルギーの心配のある子には、家庭で初めて口にする食材のときは、1品ずつ様子をよく見て進めるよう声掛けをしていく。</p>			
期	1期(4~5月)		2期(6~8月)		3期(9~12月)		4期(1~3月)	
0歳	<p>★<b>内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■安定した人間関係の中で心地よい生活を味わう。</li> <li>■きちんと咀嚼が行えるようになる。</li> <li>■食べ物に興味をもち、楽しみながら食事をし、</li> <li>★ゆったりとした雰囲気の中で食べさせてくれる人に関心をもつ。</li> <li>★口をしっかりとごかし、咀嚼が行えるようになる</li> <li>★よく遊び、よく眠り、進んで離乳食を食べる</li> </ul>	<p>■いろいろな食べ物を見る、触る、噛んで味わうなどの経験を通して自分で進んで食べようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■よく噛んでから飲みこんでいけるようにする。</li> <li>■食事の前には挨拶があるということを知る。</li> <li>★いろいろな食べ物に関心をもち、自分で進んで食べ物を持って食べようとする。</li> <li>★そのまま飲み込むことなく、よく噛んでから飲みこむ。</li> <li>★食事の前後の挨拶を知り、保育士等や友達と一緒に進む。</li> </ul>	<p>■自分でしようとする気持ちを大切に、好き嫌いをなく様々な味に親しみをもてるように食材の種類や調理法にも配慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■椅子と机の間を詰めすぎず、姿勢が安定し、正しい姿勢で座って食事ができるように促す。</li> <li>★子どもの食べる意欲を損なわないよう、一人一人の状態に応じて清潔に保っていきけるようにする。</li> <li>★挨拶をして食べられるよう、手を添えて一緒に進むように援助する。</li> </ul>	<p>■なんでもバランスよく食べ、体を十分に動かす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■食後に口の周りや手を自分で拭き、清潔にしようとする。</li> <li>■様々な人とのお食事を進んで愛情や信頼をもつ。</li> <li>★よく食べてよ運動をし、なにこどもも意欲的にやろうとする。</li> <li>★口の周りや手をタオルで拭き、清潔にすることが快いということを感じる。</li> <li>★保護者や地域の方々との食会により愛情や信頼をもつ。</li> </ul>	<p>■手づかみやスプーンを使い、自ら進んで食べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■横を向いて食べたり、立ち歩いたりせず、進んで食事をしようとする。</li> <li>★様々な店で働く人がいることを知り、お兄さんやお姉さんと一緒に楽しんで買い物をする。</li> <li>★最後まで自分で食べようとする意欲をもつ。</li> <li>★横を向いたり、立ち歩いたりすることなく、落ち着いて自分一人で食べようとする。</li> </ul>			
	<p>★<b>環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ゆったりとくつろげる環境を整え、抱っこや触れ合い遊びを通して、お腹が空くようになる。</li> <li>★咀嚼が出来るように「もぐもぐ、ごっくん」と声掛けをする。</li> <li>■食欲と人間関係が密接にあることを踏まえ、子どもの人間への信頼、愛情の基盤となるよう、愛情豊かな特定の大人との継続的で応答的な授乳及び食事での関わりにも配慮する。</li> <li>★咀嚼や嚥下機能の発達状態を適切に把握し、家庭でもバランスよい食事を与えられるよう協力を求める。</li> </ul>	<p>■自分でしようとする気持ちを大切に、好き嫌いをなく様々な味に親しみをもてるように食材の種類や調理法にも配慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■椅子と机の間を詰めすぎず、姿勢が安定し、正しい姿勢で座って食事ができるように促す。</li> <li>★子どもの食べる意欲を損なわないよう、一人一人の状態に応じて清潔に保っていきけるようにする。</li> <li>★挨拶をして食べられるよう、手を添えて一緒に進むように援助する。</li> </ul>	<p>■様々な食材を食べられるよう、厭立を工夫し、旬の食材や果物を多く取り入れ、食欲を促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★好き嫌いをなく食べ、運動を行い、丈夫な体をつくることができよう声掛けをし、できたことは褒め、自信が付けよう配慮する。</li> <li>★口拭きをそばに置き、食べ終わったら拭くことを伝え、自ら進んで拭いていけるように声掛けをし、清潔を保つ。</li> <li>★食べ物が少なくなってきたら皿の一方に集めるなど、個々に合わせて援助し、こぼしてしまっても励まし、食べようとする気持ちを大切に促す。</li> </ul>	<p>★一人で何でも喜んで食べることができるよう援助や声掛けをしていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★子どもが食べ物に興味をもって自ら意欲的に食べようとする姿を受け止め、自立心の芽生えを尊重する。</li> </ul>				
1歳	<p>★<b>内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■様々な食品や、調理形態に慣れ、楽しい雰囲気のもとで食べることができるようになる。</li> <li>■新しい環境で友達や保育士と一緒に楽しく食べる。</li> <li>■偏った食べ方をせずに、バランスよく食べる。</li> <li>★様々な食品や調理形態に慣れ、なんでも食べられるようになる。</li> <li>★進級の喜びを感じ、新しい環境で楽しく食べる。</li> <li>★野菜や主食もバランスよく食べる。</li> </ul>	<p>■園でよく噛んで食べることが大切だということを知り、よく噛んで食べていけるようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■スプーンの持ち方を確認し徐々に手を使うことなく食べていけるようになる。</li> <li>■安定した生活リズムを保ち、暑さに負けず元気に過ごす。</li> <li>★園に興味を持ち、食べ物をよく噛んで食事ができるようにする。</li> <li>★生活リズムが安定し、食事も完食して健康に過ごす。</li> <li>★徐々にスプーンを使い食べていく。</li> </ul>	<p>■姿勢に注意して食べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■好きなものばかり食べるのではなく、苦手なものでも食べる。</li> <li>■食事の挨拶や歌を歌えるようになる。</li> <li>★食べる姿勢に注意し、正しい姿勢で椅子に座り、食事を進める。</li> <li>★バランスよく食べる大切さを知り、意欲的に食べようとする。</li> <li>★食事の前にはきちんと座り、手を膝に置き、保育士等とともに挨拶をしたり、歌を歌ったりできるようにする。</li> </ul>	<p>■いろいろな種類の食べ物や料理を味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■スプーンを上手に使い、バランスよく食事ができる。</li> <li>★食べ物に興味、関心を持ち、進んで自分から食べようとする。</li> <li>★手づかみではなくスプーンを使い、完食する。</li> </ul>				
	<p>★<b>環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■新しい環境に慣れ、食べることの喜びや楽しさを感じられるよう保育室の環境に配慮する。</li> <li>■汁物、おかず、主食もバランスよく食べられるようになる。</li> <li>★視覚や味覚、嗅覚も発達し、緑の食べ物を避けたり、好き嫌いが現れたり、食欲にもむらがるため、一人一人の食欲、咀嚼力、手指の発達や家庭での生活などに配慮した食事となるよう家庭・保育士が連携する。</li> </ul>	<p>■噛む力を養うため、少しずつ大ききや硬さを覚えていくとともに、大きめの食材や硬い食材は食べやすいように切ったり、よく噛むように声掛けをし、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■スプーンを持ちやすい位置に置き、自ら進んでスプーンを口に運ぶことが出来るようになる。</li> <li>★食べ物やよく噛んで食べる大切さを知らせ、「もぐもぐ」「かみかみ」「ごっくん」と実際にまねをして見せたり、言葉で促すようにする。</li> <li>★暑さに負けず過ごすために、しっかりと休息を取り、心身を休めることや食事をきちんととることが大切だということを伝え、家庭と保育園が連携して健康に配慮し好き嫌いをなく完食できるようにする。</li> </ul>	<p>■椅子と机の間を詰めすぎず、座りやすいように配置を考え、正しい姿勢で座って食事ができるように促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■食事にも慣れ、咀嚼・嚥下ができ、食べることが楽しくなるように食べやすさや彩りにも配慮する。</li> <li>★口に運びやすいように援助し、上手に食べられたときには褒め、やる気をもたせていく。</li> <li>★食事の前の挨拶は、はっきりと発音し、模倣しやすいように配慮する。</li> </ul>	<p>■スプーンを上手につかつかって完食できるよう配慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★好きな食べ物に偏らず、嫌いなものでも食べていけるように声掛けをする。</li> <li>★スプーンを正しく握って口に運べるよう、食器に手を添えたり声掛けをし、</li> </ul>				
2歳	<p>★<b>内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■新しい環境で友達や保育士と一緒に楽しく食べる。</li> <li>■食事に必要な基本的な態度や習慣を身に付ける。</li> <li>■食前、食後は自分の席で待ち、食事の際には姿勢よく周りを汚さないように気を付けて食べていく。</li> <li>★進級の喜びを感じ新しい環境で楽しく食べる。</li> <li>★楽しんで食事をしながら、少しずつ旨の食べる量合わせられるようになる。</li> <li>★みんなですぐ、「ごちそうさま」の挨拶ができるように食事の時間を守り、待つという意識をもつ。</li> </ul>	<p>■園での生活リズムに慣れ、元気に過ごす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■季節感のある食材に親しみ、旬の夏野菜を味わう。</li> <li>★生活リズムが安定し、食事も完食して健康に過ごす。</li> </ul>	<p>■食事に大切さに気付くよう、サンマの食育等の行事に参加し楽しみながら食への興味、関心を広げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★時間内に残さずきれいに食べることができるようになる。</li> <li>★秋の季節は、魚や野菜、果物がおいしいことに気づき、食べ慣れないものも積極的に食べていく。</li> </ul>	<p>■多くの種類の食べ物や料理を味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■食べこぼしなく食べ、エプロンを付けずに食べることが出来る。</li> <li>■食事のマナーを身に付け、給食を食べる元気が通園できたことを喜び、進級の喜びを感じる。</li> <li>★様々な食べ物を進んで食べる。</li> <li>★進級を意識し、食べこぼしなく食べる。</li> <li>★お互いの成長に気づき、給食のおかげで元気が通園できたことを皆で一緒に喜び、進級の喜びを感じる。</li> </ul>				
	<p>★<b>環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■食前食後の挨拶や食前に手洗いをするなどの習慣、食事のスピードなども周りに合わせていけるように配慮する。</li> <li>■新しい環境になり、落ち着いて過ごせるよう環境を整備する。</li> <li>★自分で苦手なものでも進んで食べていけるように声掛けをし、食べられた時には褒め、次へのやる気や意欲を引き出していく。</li> <li>★食事の前後の挨拶や座って待つことを覚えていけるよう声掛けをする。</li> <li>★みんなですぐ食べる楽しさを感じられるよう、「おいしいね」などの会話をしながら食べられるよう援助していく。</li> </ul>	<p>■夏野菜の栽培を通して植物の種、花、葉の形等の違いに気づき、食物への関心を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★元気に過ごすために、しっかりと休息を取り心身を休めることや、食事をきちんととることが大切だということも伝え、家庭と保育園が連携して健康に配慮し好き嫌いをなく完食できるように援助する。</li> <li>★食事の前の挨拶は、言葉をはっきりと発音し、模倣しやすいように配慮する。</li> </ul>	<p>■食事の大切さに気付くよう、サンマの食育等の行事に参加し楽しみながら食への興味、関心を広げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★時間内にきれいに食べられるように励ましたり声掛けをして意欲的に食べようとする。</li> <li>★季節により、様々な食材が収穫されることを知らせ、自然と食事のつながりに気付くように配慮し、行事食だけでなく、普段の給食にも興味をもって、意欲的に食べられるように配慮する。</li> </ul>	<p>■子どもが遊びや睡眠、排泄などの諸活動をバランスよく展開し、食欲を育むよう配慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■子どもの体と机が離れすぎないよう、椅子の位置に配慮し、食べやすいような配置にする。</li> <li>★食べこぼして服を汚すことがないように注意しながらも時間内に食べていけるように配慮する。</li> <li>★友達と一緒に保育園でいろいろな食体験をして、楽しくおいしい給食であったことを話し、成長の喜びを感じながら、行事食を味わえるよう配慮する。</li> </ul>				

# こむぎ保育園 令和6年度 食育計画 3・4・5歳児

【健】…食と健康 【人】…食と人間関係 【文】…食と文化 【命】命の育ちと食 【料】…料理と食

年間目標	3歳	4歳	5歳	アレルギー対応
	<p>【健】食生活に必要な基本的習慣や態度を身に付ける。 【人】様々な人と一緒に食べる楽しさを味わい、マナーを守って食事を する。 【文】季節の行事を通じ、伝統文化を知る。 【命】自分の体に必要な食品を知り、バランスよく何でも食べられる ようになる。 【料】食材の色や形、食感の違いを楽しむ。</p>	<p>【健】自分の体に必要な食品の種類や働きを知る。 【人】友達と一緒に食べる楽しさを味わい、愛情や思いやりを育て る。 【文】楽しく食事をしながら、食育のマナーを身に付ける。 【命】野菜の栽培を通じ、生育の様子を知る。 【料】日本の伝統料理に触れ親しみを持つ</p>	<p>【健】自分の体に必要な食品の種類や働きを知り、バランスを考え て食事を する。 【人】食事を通じて、感謝の気持ちを育む。 【文】健康に過ごしていくための食習慣や生活態度を身に付け、集 団生活でのルールなどが守れるようになる。 【命】栽培や収穫を通じ、食材への感覚を豊かにする。 【料】食事にふさわしい場を考え、落ち着いて食事を する。</p>	<p>●個々のアレルギーの状況を指示書・検査結果表をもとに把握し、 代替食を提供する。 ●子どもの気持ちに配慮したうえで、誤食事故のないように環境設 定を行う。 ●徐々に自身のアレルギーに対する意識を育て、生活上の注意が できるように援助していく。</p>
期	1期(4～5月)	2期(6～8月)	3期(9～12月)	4期(1～3月)
3歳	<p>★<b>内ねらい</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■できるだけ多くの種類の食べ物や料理を味わう。</li> <li>■自分で食事ができることや身近な人と一緒に食べる楽しさを味わう。</li> <li>■食事に必要な基本的な習慣や態度を身に付ける。</li> <li>■様々な食べ物を進んで食べる。</li> <li>★健康な生活リズムを身に付ける。</li> <li>★身近な大人や友達とともに、食事を する喜びを味わう。</li> </ul>	<p>■調理に関心をもち、簡単な調理を楽しむ。 ■身近な食材を使って、食べものの味の違いを知る。</p> <p>★同じ料理を食べたり、分け合って食事をすることを喜ぶ。 ★身近な動植物に関心を 持つ。</p>	<p>■食べ物は口から食べた後、どうなるのか興味をもつ。 ■秋の魚や野菜、果物に関心をもち、 ★良く噛んでしっかり飲み込むようにする。 ★食べ物と便との関係に興味と関心をもち、 ★旬の野菜や魚のおいしさを知る。</p>	<p>■箸の持ち方や使い方について興味をもつ。 ■自分の体に興味をもち、健康に過ごすために、好き嫌いなく何でも 食べる。 ★遊びを通して、箸の正しい持ち方や使い方を知り練習する。 ★慣れない食べ物や嫌いな食べ物にも挑戦する。</p>
	<p>★<b>援助環境構成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■子どもが遊びや睡眠、排泄などの諸活動をバランスよく展開し、 食欲を育むようにする。</li> <li>■食事にふさわしいゆとりのある雰囲気 の環境に配慮する。</li> <li>★食前、食後の挨拶をし、食前には手洗いを する。</li> <li>★正しい姿勢で食べることや食具の 使い方を知らせる。</li> </ul>	<p>■身近な動植物、また飼育・栽培物の中から保健・安全面に留意し つつ、食材につながるものを選び、積極的に食するなど、自然と食 事のつながりに気付くように構成する。 ★自分でようとする気持ちを大切に し、好き嫌いせず様々な味に 親しみをもてるように食材の種類や 彩りにも配慮する。</p>	<p>■四季の変化によりいろいろな食材が 収穫されることを知らせ、自 然と食事のつながりに気付くよ うに図鑑などを用意しておく。 ★食べ物の種類によって便の色や 形、柔らかさが異なることに気 付けるよう知らせる。</p>	<p>★保育園で友達と一緒にいろいろな 食体験をして、楽しくおいしい給 食であったことを友達と会話し ながら、成長の喜びを感じ、行 事食を味わえるようにする。 ★箸の持ち方、使い方を遊びに 取り入れながら、楽しく正しい 持ち方が覚えられるようにする。</p>
4歳	<p>★<b>内ねらい</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■様々な人との会食を通して愛情や信頼感をもつ。</li> <li>■栽培、飼育、食事を 通じて、身近な存在に親しみ を持ち、全ての命を大切に する心をもつ。 ★食生活に必要なことを、友 達とともに協力して進めて 関わりを深め、思いやりの 気持ちをもつ。 ★自分たちが野菜を育て、 食材にも旬があることを知 り季節を感じる。</li> </ul>	<p>■いろいろな料理に出会い、発見を楽しみ、考 えたり様々な文化に 気付いたりする。 ■正しい食習慣、マナーを 身に付ける。 ■自然の恵みと働くことの 大切さを知り、感謝の気持 ちをもって食事を味わう。 ★挨拶や姿勢など、気持 ちよく食事をするためのマ ナーを身に付ける。 ★健康と食べ物 の関係について関心をもち、 ★肉、魚、卵、牛乳、豆、 小麦粉など身近な食材から いろいろな料理ができるこ とを知り、自然の恵みに感 謝の気持ちをもつ。</p>	<p>■食事と運動の関係を 知り、意欲的に活動する。 ★よく食べてよく運動を することが丈夫で強い体 をつくることを知り、 意欲的に活動する。</p>	<p>■冬に出回る旬の野菜を知り、 調理の方法や料理に 興味と関心をもち、 ■食事のマナーを身に 付け、給食を食べて元 気よく通園できたこと を喜び、進級の喜び を感じる。 ★旬の野菜を料理に 取り入れると、栄養が あっておいしいことを 知る。 ★食事のマナーや お互いの体の成長に 気付き、進級の喜び を感じる。</p>
	<p>★<b>援助環境構成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■野菜の栽培を行えるよう土や 苗等の環境を整える。</li> <li>■大人との信頼関係に支 えられて、食生活等も 含め自分自身の生活 を確立していくことが 基盤となるようにする。</li> <li>★身近な動植物に 触れて共感し、命を 育む自然に感謝の 気持ちをもてるよう、 自ら関わろうとする 意欲を大切に する。 ★友達と楽しい 雰囲気の中で、正し く箸を持って食べ られるように援助 する。</li> </ul>	<p>■健康と食べ物 の関係について関 心を促すにあたって は、子どもの興味・ 関心を踏まえ、全 職員の連携のもと、 子どもの発達に応 じた内容に配慮す る。 ★様々な文化の 違いを認め、互い に尊重する心を 育てよう援助す る。 ★いろいろな食 材から料理が できることを知 り、献立に興味、 関心をもち、 関心をもてるよ うにする。</p>	<p>■しっかりと三角 食べができるよう、 配膳図を用意し、 バランスよく 食べていけるよ うにする。 ★様々な食品を 食べてよく運動 することで食欲 が増し、肥満を 防ぎ、おいしく 食べられること を教え、食べ物 と運動の関わり に興味をもち、 好き嫌いなく 何でも食べ、 意欲的に活動 できるように 知らせる。</p>	<p>■箸の持ち方 や姿勢など 確認できるよ うにする。 ★友達と一緒 にいろいろな 食体験をして、 楽しくおい しい給食であ ったことを 友達と会話し ながら、成長 の喜びを感じ ながら、行 事食を味わ えるよう 配慮する。 ★旬の野菜 は栄養価が 高く、バ ランスよ くなんでも 食べるこ とで風邪 の予防に なること を知らせる。</p>
5歳	<p>★<b>内ねらい</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■身近な自然に関わり、世話を する中で、料理との 関係を考え、食 材に対する感覚を 豊かにする。 ■三角食べを 意識してバ ランスよく 食べていく ★栽培を通 じ、食材の 成長を喜び、 調理するこ とで生かされ ることを学 ぶ。 ★三角食べ を意識して、 主食・おか ず・汁物を バランスよ く食べてい く</li> </ul>	<p>■自分の体 に必要な食品 の種類や働 きに気付き、 栄養バ ランスを 考慮した 食事を 取ろうと する。 ■食事に ふさわしい 環境を 考えて、 ゆとり ある落 ち着い た雰 囲気 で食 事を する。 ★自分の 健康に 関心を もち必 要な食 品を進 んで取 ろうと する。 ★食品は 種類に よって 体の中 での働 きに違 いがある ことを 知る。 ★自分 たちが 好まし い食事 の雰 囲気 を考え 楽しく 食べる 工夫を する</p>	<p>■友達と 話をし ながら、 時間内 で食べ ていく。 ★楽しく 食事を しなが ら、時 計を見 て決め られた 時間 の中で 食べ 終わ れるよ うに なる。</p>	<p>■食事の マナー を身に 付け、 小学校 の給食 に期待 をもつ。 リクエスト 給食を 通じて、 健康に 大きく 育った 喜びを 感じ、 感謝の 気持 ちをも つ。</p>
	<p>★<b>援助環境構成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■三大栄養素の分類表を掲げ、 毎日の献立には何が入っている かを 確認 できる ように する。 ■子ども の食生活 と関係 の深い 人々と 触れ 合い、 自分の 感情や 意志を 表現し ながら 共に食 を楽しむ。 ★毎日の 献立を 一緒に 確認 するこ とで、 どんな 食材に 栄養が あるか 興味を もてる ように 援助す る。 ★三角 食べが できる ように 声掛け を行っ ていく。</li> </ul>	<p>■体の 仕組み に興味 がもて るよう、 図鑑や 絵本を 用意す る。 ★食べ ものは 過剰に 食べる ことや 欠乏す ること により、 心身の 健康を 害すこ とに気 づくよ うに 配慮す る。 ★子ども の食生 活と関 係の深 い人々 と触れ 合い、 自分の 感情や 意志を 表現し ながら 共に食 を楽しむ。 ★目で 見て 楽しめ、 食べた くなる ように 彩りや 盛り付 けを 工夫す る。</p>	<p>★楽しく 会話を しなが らでも 時間内 に食べ 終わる よう 声掛け をする。</p>	<p>■保育園 で友達 と一緒 にいろ んな食 体験を して、 楽しく おい しい給 食であ ったこ とを 振り返 る機会 を設 ける。 ★保 育園 での 給食 の思い 出を 振り返 りなが ら、小 学校 への 期待 をも てるよ うに 配慮 する。</p>
行事	5月クッキー作り	6月お皿の置き方・箸の持ち方 8月とうもろこしの皮むき	10月サンマ塩焼き 11月味噌づくり 12月だしの食育	2月すいとん作り

# 令和6年度子育て支援計画

期		1期	2期	3期
月		4月 5月 6月 7月	8月 9月 10月 11月 12月	1月 2月 3月
目標		地域に開かれた社会福祉施設として、子育ての知識や経験、技術を提供しながら在園児及び地域子育て家庭の健全育成及び支援を図る。		
園行事及び園事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育連絡会</li> <li>・内科健診(全園児6月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内科健診 (0歳児6、9、12、3月 1歳児以上6、9月)</li> <li>・保育参加・個人面談 (7月～順次)</li> <li>・敬老の日の会・夏祭り・移動動物園</li> <li>・プレイデー ・卒園遠足(高尾山)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お楽しみ保育・内科健診 (0歳児 3月)</li> <li>・進級説明会(0歳児、1歳児、2歳児) ・卒園式</li> </ul>
園児保護者への子育て支援	園行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保育連絡会を通し、各クラスごとに保護者の顔合わせをする。</li> <li>●個人面談で様子を伝え合う。</li> <li>●保育参加では給食の様子もみてもらう。</li> <li>※「ほけんだより」を保護者へ配布。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プレイデーを通し、園児が成長していく様子を連絡帳及び送迎の際に伝える。</li> <li>※「ほけんだより」を保護者へ配布。</li> <li>※「年間成長統計グラフ」を配布。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●進級説明会では1年間の成長を伝え、進級にあたって確認することを伝える。</li> <li>※「ほけんだより」を保護者へ配布。</li> <li>※「年間成長統計グラフ」を配布。</li> </ul>
	個人相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>●連絡帳を通じて家庭と連携、園児の様子を伝えあう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大きな行事を通し、園児が成長していく様子を連絡帳及び送迎の際に伝える。●保育参加の際、保護者とゆっくりお子様の様子について話し合う機会を設けることにより、不安を解消し、よりよい関係を築く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●進級するにあたり心配なことはないか確認する。</li> </ul>
地域への子育て支援	園生活体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>●6月、7月 おやつを食べよう 午後15時～16時 手遊び、季節の歌、絵本読み聞かせ、おやつ試食</li> <li>●4月、5月、6月、7月 園庭開放</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●9月、11月 おやつを食べよう 午後15時～16時 手遊び、季節の歌、絵本読み聞かせ、おやつ試食</li> <li>●9月、10月、11月、12月 園庭開放</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1月、2月 おやつを食べよう 午後15時～16時 手遊び、季節の歌、絵本読み聞かせ、おやつ試食</li> <li>●1月 園庭開放</li> </ul>
	地域交流事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●7月～8月 小・中学生・高校生 職場体験 ●落語会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●落語会</li> </ul>
	子育てひろば	<ul style="list-style-type: none"> <li>●6月7月 ひよこ学習 妊産婦とその家族対象。子育ての勉強と親の交流の場。</li> <li>※地域の妊産婦との交流及び育児相談。</li> <li>※ストレスの発散、悩みを相談する。</li> <li>※手作りおもちゃで遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●9月10月11月12月ひよこ学習 妊産婦とその家族対象。子育ての勉強と親の交流の場。</li> <li>※地域の妊産婦との交流及び育児相談。</li> <li>※ストレスの発散、悩みを相談する。</li> <li>※手作りおもちゃで遊ぶ。</li> </ul>	<p><b>その他 育児相談 対応</b></p> <p>子どもの育ちを家庭と連携して支援していくとともに、保護者及び地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資するよう留意する。</p>
一時預かり事業		余裕活用型一時預かり保育 定期一時保育		

# 社会福祉法人友好福祉会 組織図(R6.4.1)

第三者委員
井爪
志波

法人		
理事長		
評議員	理事	監事
7名	6名	2名

麦の家		
麦の家	相談室	短期入所

